

施策評価シート

施策コード	1101	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	子育て応援の充実	所属名 福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○核家族化の進展、ひとり親家庭や共働き世帯の増加、親同士のコミュニケーションの不足、育児における孤立感や不安感などから、子育てを取り巻くさまざまな問題が発生しています。</p> <p>○基本的な生活習慣が身につけていない子ども、戸外での遊びなど運動経験の少ない子どもが増加する傾向にあります。</p> <p>○病気や障がいのある子どもへの発達支援は、家庭、保育園・幼稚園、小学校と生活の場が変化しても途切れることなく継続することが望まれています。</p> <p>○子育てを家庭や親だけが担うのではなく、家庭、地域、企業、NPOなど社会全体で子育てを応援していくことが重要です。</p> <p>○本市の出生数は減少傾向であり少子化が進展しています。</p> <p>少子化の原因と考えられる未婚者の増加に歯止めをかけるとともに、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに取り組む必要があります。</p>
めざす方向	母子保健医療、幼児教育・保育サービスなどの子育て支援を総合的に取組み、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育つための環境づくりを進めます。
達成するための対策・手段	<p>①安心して妊娠、出産、子育てができる支援体制の整備</p> <p>②多様な幼児教育・保育サービス、施設の充実</p> <p>③家庭、地域の子育て力の向上</p> <p>④児童虐待防止の取組み強化</p> <p>⑤子どもにやさしい空間づくり</p> <p>⑥結婚希望者の応援</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率	%	目標	55	65	80	85	90
				実績	57.8	60	62.2	68.2	0
				目標達成率	105%	92%	78%	80%	
		(指標の説明) 園庭芝生化の実施率。児童の屋外活動を促進し、基礎体力の向上、情操の安定をめざす。(基準値は平成22年度)							
	2	「子育てを楽しい」と思う市民の割合	%	目標	0	0	0	70	0
				実績	0	0	0	0	0
				目標達成率					
		(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	9,940,665	9,792,116	9,918,683	10,678,227	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>妊婦健診、乳幼児健診、養育支援訪問の事業を実施するとともに、育児不安の解消やひとり親家庭への支援、DV・児童虐待防止に向けた取り組みを実施し、安心して子育てができる環境づくりに努めた。また、育児と家庭の両立を支援するため、一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの提供を行った。更に、公立保育園の改築や私立保育園改築への助成などを行うと共に、27年度よりスタートする「子ども・子育て支援新制度」により新設される地域型保育施設開園への支援を行って、定員増を図り待機児童ゼロの維持に努めた。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>近年の急速な少子化の傾向に対して子どもを産み育てやすい環境を整えることは喫緊の課題。保育需要の増加や保育ニーズの多様化が進む中、本市は関係機関や保護者などと協働し、「安心して出産・子育てできるまち」の実現に向け、総合的な子育て支援を推進していく必要がある。そのため、27年4月の「子ども・子育て支援新制度」の施行に向けて、本年3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画」による各種施策に全力で取り組んでいく必要がある。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	000467	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	妊娠、出産支援事業(妊婦健康診査)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	妊婦健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-03-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦
意図 (どのような状態にするために)	母体や胎児の健康確保を図り、安心して出産を迎えられるようにする。
手段 (どうするのか)	妊婦健康診査受診票を1人あたり14枚交付し、妊婦健康診査費の助成をすることで、妊婦健康診査を受けやすくする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付。 医療機関委託健診	平成24年度 妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付。 医療機関委託健診	平成25年度 妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付。 医療機関委託健診	平成26年度 妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付。 医療機関委託健診	平成27年度 妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付。 医療機関委託健診	
	年度別実績	妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付した。 医療機関委託健診	妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付した。 医療機関委託健診	妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付した。 医療機関委託健診	妊娠届出時に妊婦健康診査受診票14枚、多胎妊娠妊婦には5枚追加交付した。 医療機関委託健診		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	153,576	144,411	144,057	142,770	0	
	直接経費 A	152,826	143,668	143,328	142,018	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	39,879	36,640	3,314	55	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	112,947	107,028	140,014	141,963	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	妊婦健康診査受診数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			件	目標	21620	21620	21620	21620	21620
	(指標の説明)	妊婦健康診査受診数	実績	23431	22077	22145	21765	0	
2			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P96(健036)</p> <p>【事業の概要】 母子手帳交付時にあわせて妊婦一般健康診査受診票を交付する。 交付枚数は、妊娠全期を通して14枚。ただし、多胎妊娠妊婦には左記に加えて5枚分を追加で交付する。</p> <p>【事業の成果】 妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦健診を受けやすくし、安心して出産をむかえられるよう支援した。 平成24年度 143,668千円(一般 延21,500人 多胎 延29人) 平成25年度 143,328千円(一般 延22,145人 多胎 延23人) 平成26年度 142,018千円(一般 延21,765人 多胎 延22人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 妊婦健康診査の重要性について周知しながら継続実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	妊婦健康診査受診数	108%	102%	102%	101%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	母子保健法第13条に規定された健康診査である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	受診券を発行した妊婦は全員利用している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	受診券を利用して健康診査を受けることで、妊婦と胎児の健康確保につながっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	妊娠届をした妊婦全員に受診券を交付している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	妊婦と胎児の健康を確保するために、妊婦が安心して健診を受けられる体制を継続実施していくことは重要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000484	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	妊娠、出産支援事業(特定不妊治療助成)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市特定不妊治療費助成金交付要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特定不妊治療助成事業費補助金			予算事業コード	01-04-01-03-29-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特定不妊治療を受けた夫婦
意図 (どのような状態にするために)	子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるようにする。
手段 (どうするのか)	特定不妊治療費の一部を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回までとする。	平成24年度 特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回までとする。	平成25年度 特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回までとする。	平成26年度 特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし初年度は年3回まで。(H26.6月から妻の年齢により制度一部変更)	平成27年度 特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし初年度は年3回まで。(H26.6月から妻の年齢により制度一部変更)	
	年度別実績	特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回まで。	特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回まで。	特定不妊治療に要した費用のうち、鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし、初年度は年3回まで。7月より助成回数上限を撤廃し1/2助成	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。期間は通算5年間で1年度あたり2回まで。ただし初年度は年3回まで。(H26.6月から妻の年齢により制度一部変更)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,106	13,870	14,305	14,751	0	
	直接経費 A	10,356	13,127	13,576	13,999	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,356	13,127	13,576	13,999	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		特定不妊治療費助成実人員	人	目標	160	160	160	160	170
	実績	156	170	179	176	0			
(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた人数									
2	指標名	単位	目標	250	250	260	270	270	
	特定不妊治療費助成延べ件数	件	実績	244	295	380	385	0	
(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた件数									
3	目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P101 (健045)</p> <p>【事業の概要】 経済的負担が原因で子どもを諦める夫婦がないように治療費を助成することで子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うために、鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった人に対して治療費の追加助成を行う。 (1) 平成26年5月31日までに新規で助成を受けた場合 1年度に2回(初年度は3回)を限度に通算5年度で10回まで 鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった費用から、鳥取県の助成金を控除した額又は5万円(以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施した治療については2万5千円)のいずれか低い額を助成。それ以上の回数になる場合は、鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった費用から、鳥取県の助成金を控除した額又は2万5千円のいずれか低い額を助成。 (2) 平成26年6月1日以降、新規で助成を受ける場合 妻の年齢が40歳未満の場合は通算5年度で6回まで。40歳以上の場合は、初年度3回、次年度2回までの治療費を助成。内容については上記と同様。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 13,127千円 助成件数 実170名(延295件) 平成25年度 13,576千円 助成件数 実179名(延382件) 平成26年度 13,999千円 助成件数 実176名(延385件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特定不妊治療助成実人員	98%	106%	112%	110%	
	2	特定不妊治療助成延べ件数	98%	98%	146%	143%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	特定不妊治療を要する場合は、精神的負担に加えて経済的負担も大きい。市民が安心して子どもを産める環境づくりは必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	医療技術の進歩により、不妊治療による妊娠・出産者は年々増加している。特定不妊治療は治療費が高額であり、経済的支援は、子どもを望む夫婦への有効な支援策である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	特定不妊治療によって生まれた子どもの数は、出生数100人に1.8人(H18年度日本産婦人科学会調べ)と言われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	医療機関や保健所にチラシを配布し、制度の周知を図っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	少子化対策の一環として、市民が安心して子どもを産める環境づくりは継続的に必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000465	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て相談・指導事業(母子保健相談指導)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	母子保健相談指導事業費			予算事業コード	01-04-01-03-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊産婦、乳幼児
意図 (どのような状態にするために)	安心して妊娠・出産・子育てができるようにする。
手段 (どうするのか)	妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、子育てに関する悩みを聞き、子育てに関する必要な情報提供や保健指導を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	平成24年度 ・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	平成25年度 ・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	平成26年度 ・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	平成27年度 ・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	
	年度別実績	・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務	・母子コーナーでの相談業務 ・乳幼児健診業務 ・歯科保健業務		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,923	8,840	11,153	12,114	0	
	直接経費 A	6,424	7,355	9,696	10,610	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,027	880	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,424	7,355	8,669	9,730	0	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		妊産婦・乳幼児相談件数	件	目標	6100	6200	6200	6300	6300
	(指標の説明)	実績	6737	5990	8383	8625	0		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 昭和47年より母子コーナー開設し、母子の健康に関する相談を受けている。 妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、子育てに関する不安や悩みを聞き、子育てに関する必要な情報提供や保健指導を行う。</p> <p>【事業の成果】 人件費部分抜粋</p> <p>平成24年度決算額 嘱託歯科衛生士1人、嘱託看護師2人 報酬 5,559,240円 共済費 800,624円</p> <p>平成25年度決算額 嘱託歯科衛生士1人、嘱託看護師2人、嘱託保健師1人 報酬 7,640,040円 共済費 1,152,399円</p> <p>平成26年度決算額 嘱託歯科衛生士1人、嘱託看護師2人、嘱託保健師1人 報酬 8,235,000円 共済費 1,237,078円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育てに関する不安や悩みを軽減し安心して子育てできるよう継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	妊産婦・乳幼児相談件数	110%	97%	135%	137%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	少子化、核家族化により身近に相談できる人が少なくなっているため、市が相談事業を実施することが必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	母子手帳交付、妊産婦相談の窓口になっており、早期母子相談支援を実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	専門的な相談に対応するため、保健師・看護師などの専門職を配置している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	相談事業については、チラシ等で広くPRし、相談に全て応じている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	妊娠、出産、子育ての悩みが改善するよう、相談事業を継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000466	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て相談・指導事業(母子保健訪問指導)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法、児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	母子保健訪問指導事業費			予算事業コード	01-04-01-03-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	産婦及び新生児の家庭
意図 (どのような状態にするために)	産婦及び新生児の健康の保持増進を図り、安心して子育てができるようにする。
手段 (どうするのか)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談に応じ、適切な保健指導を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 母子保健推進員及び保健師による新生児訪問指導	平成24年度 母子保健推進員及び保健師による新生児訪問指導	平成25年度 母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	平成26年度 母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	平成27年度 母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	
	年度別実績	母子保健推進員及び保健師による新生児訪問指導を実施した。	母子保健推進員及び保健師による新生児訪問指導を実施した。	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導を実施した。	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導を実施した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,449	8,447	8,524	8,501	0	
	直接経費 A	6,450	5,477	5,610	5,492	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,930	3,087	2,804	3,602	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,520	2,390	2,806	1,890	0	
人件費 B	2,999	2,970	2,914	3,009	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		新生児訪問率	%	目標	98	99	100	100	100
			実績	93	91.6	98.3	96	0	
	(指標の説明)	出生数に対し母子保健推進員及び保健師が訪問した割合							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P96(健035)</p> <p>【事業の概要】 子どもの健やかな成長と子育てを支援するために、母子保健法に基づく新生児訪問指導併せて児童福祉法に基づく「こんにちは赤ちゃん事業」として、実施。生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談等に応じたり、情報提供を行う。平成25年度より未熟児訪問指導が、鳥取県から移譲となり、未熟児への全数訪問も実施している。</p> <p>【事業の成果】 保健師及び委託した母子保健推進員が産婦及び新生児の家庭を訪問し保健指導を行うことにより、子育てに関する不安を軽減し、その後の適切な育児へとつなげることができた。また、これまで県が行ってきた未熟児の訪問指導を市が実施することで、身近な支援者により継続的なかわりを持つことができた。 平成24年度 5,477千円(産婦 1,551人 新生児 1,553人) 平成25年度 5,610千円(産婦 1,578人 新生児 1,597人) 平成26年度 5,492千円(産婦 1,580人 新生児 1,586人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業の周知に努めるとともに全数訪問を目指して継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	新生児訪問率	95%	93%	98%	96%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	母子保健法、児童福祉法に基づく訪問指導事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新生児期に専門職による訪問指導、相談を実施することで母子の健康状態の確認や母の育児不安の軽減を図っている。併せて、養育環境の把握もでき、虐待予防につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	新生児訪問指導は母子保健推進員(在宅の保健師または助産師の資格を有する人に市が委託)が行っている。また、ハイリスク家庭については市の保健師が訪問を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を対象に実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新生児期や乳幼児期の子どもを持つ家庭へのサポートを効率的かつ確実に実施するために今後も事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000468	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て相談・指導事業(乳児健康診査)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	乳児健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-05-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生後3か月から4か月児、生後9か月から10か月児
意図 (どのような状態にするために)	乳児期の疾病の早期発見及び健康の保持増進
手段 (どうするのか)	乳児健康診査受診票を2枚交付し、乳児健康診査費の助成をすることで、乳児健康診査を受けやすくする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	平成24年度 乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	平成25年度 乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	平成26年度 乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	平成27年度 乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	
	年度別実績	乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診	乳児健康診査受診票を2枚交付。 医療機関委託健診		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	19,365	19,468	18,112	18,581	0	
	直接経費 A	18,615	18,725	17,383	17,829	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,615	18,725	17,383	17,829	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	3~4か月児乳児健康診査受診率	%	指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				実績	93	94	95	95	95	
	(指標の説明) 3~4か月児の乳児が健康診査を受診した割合									
	2	9~10か月児乳児健康診査受診率	%	指標	90	90	95	95	95	
				実績	79.9	90.3	87.5	87	0	
	(指標の説明) 9~10か月児の乳児が健康診査を受診した割合									
3				指標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 97 (健037)</p> <p>【事業の概要】 母子保健法に基づく健康診査として、3～4ヶ月健診・9～10ヶ月健診の受診券を発行し医療機関委託で実施する。</p> <p>【事業の成果】 成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行い、乳児の健康の保持増進を図ることができた。 平成24年度 18,725千円 受診者 3,233人 平成25年度 17,383千円 受診者 3,009人 平成26年度 17,829千円 受診者 3,026人</p> <p>【今後の課題・方向性】 乳児健康診査の効果的な推進について検討しながら継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	3～4か月児乳児健康診査受診率	97%	99%	103%	101%	
	2	9～10か月児乳児健康診査受診率	89%	89%	92%	92%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	母子保健法第13条による健診で、乳児期の発達の節目に医療機関で健診を実施し、成長発達の確認と疾病の早期発見・早期治療・健康保持増進を図っている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	3～4か月健診は、目標を超える高い受診率であるが、9～10か月健診については目標に到達していない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	かかりつけの小児科で受診でき、乳幼児健診の利用しやすい機会を確保できている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	3～4か月児、9～10か月児全員に乳幼児健康診査受診票を交付している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	母子保健法に基づく健康診査で、鳥取県下統一した実施方法で行っている。継続実施が必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000472	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て相談・指導事業(育児等健康支援)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	育児等健康支援事業費		予算事業コード	01-04-01-03-09-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦及び乳幼児及びその保護者、学童期、思春期の児童、生徒
意図 (どのような状態にするために)	母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促したり、育児不安の解消を図る。児童・生徒の健全な発育、発達を促す。
手段 (どうするのか)	保健センターや各地区公民館等に出向き、子育てに関する教育・相談を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・幼児学級 ・両親学級 ・5歳児発達相談 ・地区健康教育 ・育児サロンなど	・幼児学級 ・両親学級 ・5歳児発達相談 ・地区健康教育 ・育児サロンなど	・幼児学級 ・地区健康教育 ・育児サロンなど 5歳児発達相談は平成25年度より478の発達相談事業費へ移行 両親学級廃止	・幼児学級 ・地区健康教育 ・育児サロンなど	・幼児学級 ・地区健康教育 ・育児サロンなど	
	年度別実績	・幼児学級(24回延207人) ・両親学級(3回179人) ・5歳児発達相談(12回67人) ・地区健康教育(155回 3875人) ・育児サロン(42回 653人)	・幼児学級(24回延206人) ・両親学級(3回201人) ・5歳児発達相談(12回67人) ・地区健康教育(89回1823人) ・その他(25回 614人)	・幼児学級(22回延250人) ・地区健康教育(145回3349人) ・育児サロン(地域子育て相談)(81回730人)	・幼児学級(23回延196人) ・地区健康教育(151回4449人) ・育児サロン(地域子育て相談)(106回1270人)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,132	12,701	12,147	12,520	0	
	直接経費 A	1,886	1,562	1,219	1,237	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,886	1,562	1,219	1,237	0		
人件費 B	11,246	11,139	10,928	11,283	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	ふれあい学級参加延べ人数	人	目標	250	250	250	250	250
				実績	207	206	250	196	0
	(指標の説明) 乳幼児健診後経過観察となった幼児の発達支援の教室に参加した人数								
2	5歳児発達相談相談数(平成25年度より478の発達相談事業費へ移行)	人	目標	70	70	0	0	0	0
			実績	67	67	0	0	0	
(指標の説明) 5歳児発達相談の相談者数									
3			目標	0	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 9 9 (健041)</p> <p>【事業の概要】 母子の健康づくりや栄養管理、育児等について、グループワーク等の方法を用いて教室を実施することで、母子の愛着形成を促進し子どもの健やかな発達を促す。また、発達が気がかりな子どもやその保護者、育児不安を持つ母親等に対し、相談の場や親子のふれあいの場を設けて子どもの健全な発達を促し、育児不安の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】 各地区で活動している子育てサークルや支援センターからの要望に応じ、子育ての正しい知識の普及や育児の悩みのグループワーク等を実施することで、育児不安の解消や母子の孤立の防止につながった。また母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促すことができた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成24年度</td> <td style="text-align: center;">平成25年度</td> <td style="text-align: center;">平成26年度</td> </tr> <tr> <td>決算額 1,562千円</td> <td>1,219千円</td> <td>1,237千円</td> </tr> <tr> <td>幼児学級(延) 23回(217人)</td> <td>22回(250人)</td> <td>23回(196人)</td> </tr> <tr> <td>地区健康教育(延) 144回(2,965人)</td> <td>145回(3,349人)</td> <td>151回(4,449人)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 保護者の育児不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を支援するため、ライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する</p>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	決算額 1,562千円	1,219千円	1,237千円	幼児学級(延) 23回(217人)	22回(250人)	23回(196人)	地区健康教育(延) 144回(2,965人)	145回(3,349人)	151回(4,449人)
平成24年度	平成25年度	平成26年度											
決算額 1,562千円	1,219千円	1,237千円											
幼児学級(延) 23回(217人)	22回(250人)	23回(196人)											
地区健康教育(延) 144回(2,965人)	145回(3,349人)	151回(4,449人)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ふれあい学級参加延べ人数	83%	82%	100%	78%	
	2	5歳児発達相談相談数(平成25年度より478の発達相談事業費へ移行)	96%	96%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	母子保健法に基づき、母子保健の維持、向上のために行政が取り組むべき事業と考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	乳幼児から児童・生徒、その保護者へ正しい知識の普及と啓発を行うことで健やかな成長・発達の促進につながる。また、育児不安を解消することで母子の愛着や育児の孤立化を防ぐことにつながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	専門職の協力を得ることで、より専門性の高い相談事業が実施できる。また地域との連携により地域の実態に応じた健康教育を実施できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全市で幅広く実施しており、今後も地域のニーズや対象者のニーズに合わせて継続していく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	育児不安を軽減し、子どもの健やかな発育・発達を支援するために今後もライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000476	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て相談・指導事業(育て心理相談)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	厚生労働省通知 発達障害者支援法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子育て心理相談事業費			予算事業コード	01-04-01-03-13-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	育児に関する不安を軽減し、子どもの健やかな成長発達を促す。
手段 (どうするのか)	臨床心理士による相談や訪問、1歳6か月児健診・3歳児健診に保育士を配置して子どもへの関わり方への助言をする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	平成24年度 ・臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	平成25年度 ・臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	平成26年度 ・臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	平成27年度 ・臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	
	年度別実績	臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談	臨床心理士による観察・相談・訪問 ・保育士による観察・相談	臨床心理士による観察・相談・訪問 ・保育士による観察・相談	臨床心理士による相談・訪問 ・保育士による観察・相談		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,997	3,875	4,078	4,170	0	
	直接経費 A	2,247	3,132	3,349	3,418	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,247	3,132	3,349	3,418	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		嘱託臨床心理士による相談・訪問延べ件数	%	目標	170	120	120	120	120
	実績	157	107	150	151	0			
2	(指標の説明)	嘱託臨床心理士による相談延べ件数							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 平成9年厚生労働省通知により、乳幼児健診の育児支援強化のため心理相談員又は保育士を配置。平成17年発達障害者支援法に基づき実施。 心理相談員による相談や訪問、健診に保育士を配置して子どもへの関わり方への助言をすることにより、育児不安を軽減し親への支援をするとともに、子どもの心身の健やかな成長発達を促す。</p> <p>【事業の成果】 相談を受けた保護者は、子どもの成長発達を受け入れ前向きに子育てをしていくことができている。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>心理相談員による相談・訪問</td> <td>107件</td> <td>150件</td> <td>151件</td> </tr> <tr> <td>保育士による観察・相談</td> <td>94回</td> <td>106回</td> <td>111回</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,132,400円</td> <td>3,348,800円</td> <td>3,418,100円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 子育ての困り感を抱える親へ相談・助言することで虐待を予防し、子どもの健やかな成長を促すことにつながるため、継続して実施する。</p> <p>*平成24年度よりこども発達・家庭支援センターが開設し、就園児の発達相談を受け持つこととなった。それに伴い相談の対象人数を見直し、目標値を修正した。</p>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	心理相談員による相談・訪問	107件	150件	151件	保育士による観察・相談	94回	106回	111回	決算額	3,132,400円	3,348,800円	3,418,100円
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
心理相談員による相談・訪問	107件	150件	151件														
保育士による観察・相談	94回	106回	111回														
決算額	3,132,400円	3,348,800円	3,418,100円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	嘱託臨床心理士による相談・訪問延べ件数	92%	89%	125%	126%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	発達障害者支援法に基づき実施
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	発達障害についての認識が高まる中、心理士、保育士による相談の必要性も高まっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	専門職の協力を得ることで、より専門性の高い相談事業が実施できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全市で幅広く実施しており、今後も地域のニーズや対象者のニーズに合わせて継続していく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	子どもの発達支援と保護者への子育て支援として継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000391	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小児特別医療助成事業		所属名	福祉保健部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和48年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市特別医療費助成条例
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	小児特別医療助成費			予算事業コード	01-03-02-01-50-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て世代で、保育・医療等に経済的な負担に係る世帯
意図 (どのような状態にするために)	保育・医療等にかかる経済的負担の軽減を行う。
手段 (どうするのか)	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者に医療費の助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う。	
	年度別実績	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った。	15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	543,224	610,428	575,120	586,405	0	
	直接経費 A	539,475	606,715	571,477	582,644	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	267,657	300,847	283,342	289,244	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	3,075	6,591	4,707	3,807	0
	一般財源	268,743	299,277	283,428	289,593	0	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	対象者の年齢(上限)	歳	目標	15	15	15	15	15
				実績	15	15	15	15	0
	(指標の説明) 小児特別医療助成費の支給対象								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P76(福050)</p> <p>【事業の概要】 中学校卒業までの児童(15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童)に対し、県・市が共同により医療費の助成を行う。 ○対象者 中学校卒業までの児童の入院・通院医療費を助成 ○患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料) 入院 1,200円/日 (※1) ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。</p> <p>【事業の成果】 児童に係る医療費の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担と育児への不安解消を図った。 (扶助費) 平成24年度 232,380件 576,226,432円 平成25年度 220,375件 543,271,700円 平成26年度 218,775件 554,785,072円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育てに伴う医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、鳥取県と共同して平成28年度から対象年齢拡大を進めていく。 ※その他財源の諸収入は、小児特別医療助成費返還金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	対象者の年齢(上限)	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子育てに係る経済的負担を軽減する観点から少子化対策として実施するものである
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	喫緊の課題である少子化対策としての直接的な効果は測定できないが、病気等による一時的な出費の軽減により、子育てへの不安解消につながっている
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県・市共同事業であるにもかかわらず、事業の実施に伴って国保会計が国から受けるペナルティ措置に対して県は費用負担に応じていないことから引き続き要望していく
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	現役の子育て世代以外の世代の理解が必要である

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取県からの提案を受け、子育てに伴う医療費負担の軽減を図るため、平成28年度から対象年齢を高校卒業年度まで拡大する方針である。平成27年度は対象者拡大に向けて、システム改修、申請書発送、特別医療費受給資格証送等の準備を行っていく。なお、この事業の実施においては多額の財政負担が必要になるため、この事業に係るすべての経費に対して県が応分の負担をするよう引き続き要望していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000478	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	発達相談事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	母子保健法、発達障害者支援法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	発達相談指導事業費			予算事業コード	01-04-01-03-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	一人ひとりの個別のニーズに沿った発達支援が受けられ、子どもの健やかな成長・発達を促す。
手段 (どうするのか)	乳幼児健診において発達が要追跡観察となった児、また、心身の発達の状況や集団適応の面など就学前で発達相談が必要と思われる児や保護者を対象に、脳神経小児科医師等や臨床心理士による発達相談を実施し、子どもの発達支援と保護者への子育て支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	平成24年度 ・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	平成25年度 ・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	平成26年度 ・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	平成27年度 ・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	
	年度別実績	・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談 ・先輩保護者による相談	・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談	・医師による相談 ・臨床心理士による発達相談		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,135	1,133	1,335	1,389	0	
	直接経費 A	385	390	606	637	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	385	390	606	637	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		ほほえみ相談の相談回数・相談者数	回	目標	30	30	30	30	30	
			実績	31	38	23	23	0		
	(指標の説明) 脳神経小児科医による発達専門相談を受けた件数(H23年度新規)									
	2	指標名	単位	目標	0	0	70	70	70	
		5歳児発達相談の相談回数・相談者数	回	実績	0	0	68	73	0	
(指標の説明) 25年度より 472育児発達支援事業から移行										
3	指標名	単位	目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 平成22年度まで乳幼児健診後の2次スクリーニングとして県において実施されていた発達クリニックが市町村事業となった。このことにより、平成23年度から「ほほえみ相談」として専門医による相談を行っている。 子どもや親の一人ひとりのニーズに応じるため、生活に沿った支援ができるよう、発達の専門機関の相談を組み合わせながら相談に応じる。 また、就学を控えた5歳児を対象として3歳児健診では把握が困難な軽度発達障害の気づきと相談の機会として5歳児発達相談を実施。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 ほほえみ相談 10回37人 決算額 390,302円 平成25年度 ほほえみ相談 6回23人 5歳児発達相談 12回68人 決算額 606,014円 平成26年度 ほほえみ相談 6回23人 5歳児発達相談 13回73人 決算額 637,404円 ※平成25年度から育児等健康支援事業含まれていた「5歳児発達相談」をこちらに移行した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 市としての発達相談の効果を検討しながら、子どもや親に寄り添った支援がはかれるよう継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ほほえみ相談の相談回数・相談者数	103%	127%	77%	77%	
	2	5歳児発達相談の相談回数・相談者数			97%	104%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	乳幼児健診の二次スクリーニングとして、また就学前の時期に発達相談が必要と思われる児と保護者を対象として実施。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保護者の不安軽減や、発達相談が必要と思われる子どもたちの適切な支援につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	脳神経小児科医と発達専門スタッフによる相談を実施し、身近な場所で子どもや親に寄り添った支援がはかれている
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	乳幼児健診等で、発達相談が必要と思われる子を対象に実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	子どもの発達支援と保護者への子育て支援として継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000479	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	こども家庭支援事業(養育支援訪問事業費)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法 鳥取市養育支援訪問事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	養育支援訪問事業費			予算事業コード	01-03-02-01-60-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て不安が強い妊婦や、若年での出産や養育者が産後うつ状態であったり子育てに対して強い不安や孤立感等を抱えているなど、養育の支援が特に必要と認められる家庭の児童及び養育者
意図 (どのような状態にするために)	十分な養育が行なわれるように支援する
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期の母子に対する育児指導や家事援助 未熟児や多胎児等に対する育児指導や家事援助 養育者に対する身体的・精神的不調状態に対する相談・指導 若年の養育者に対する育児相談・指導 児童が施設等を退所後にアフターケアを必要とする家庭等に対する養育相談・支援 妊婦や養育者及び児童の心理的安定を図る為のカウンセリング

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 ・非常勤の心理相談員によるカウンセリング	平成24年度 ・CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 ・非常勤の心理相談員によるカウンセリング	平成25年度 CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	平成26年度 ・CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 ・非常勤の心理相談員によるカウンセリング	平成27年度 CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	
	年度別実績	・CAPTA支援員による家庭訪問 19件、延べ316回 ・心理相談員によるカウンセリング 28人、延べ139回	・CAPTA支援員による家庭訪問 15件、延べ304回 ・心理相談員によるカウンセリング 36人、延べ203回	・CAPTA支援員による家庭訪問 19件、延べ462回 ・心理相談員によるカウンセリング 42人、延べ228回	・CAPTA支援員による家庭訪問 22件、延べ572回 ・心理相談員によるカウンセリング 42人、延べ243回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,892	3,827	4,702	5,143	0	
	直接経費 A	4,892	3,827	4,702	5,143	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,487	2,121	2,174	3,522	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,405	1,706	2,528	1,621	0	
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業の性質上設定なし	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	0	
	2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	0	
	3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P104 (健051)</p> <p>【事業の概要】 1 育児困難な状態にある養育家庭や児童養護施設等退所後の児童の家庭など特に支援を要する家庭に対し、支援員の家庭訪問による育児相談・支援をNPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取(CAPTA)に委託し実施 訪問支援延べ回数：24年度304回、25年度462回、26年度572回 2 妊婦や出産後間もない養育者及び、養育が十分に行えていない養育者や児童養護施設等から児童の家庭復帰が予定されている養育者などに対し、雇上げ臨床心理士によるカウンセリングを週2日実施 カウンセリング延べ件数 平成24年度203件 平成25年度228件 平成26年度243件</p> <p>【事業の成果】 事業の導入により、養育者による適切な養育が行われている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 核家族化及び、地域とのつながりの希薄化など、家庭での養育力が低下する傾向にあり、今後も、安心して適切・十分に養育が行なわれるよう、支援していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業の性質上設定なし					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童福祉法に基づく事業として実施。養育者が十分に子どもの養育を行えるように、養育力・養育環境を確保していくために必要な事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取に支援員の派遣を委託しており、専任スタッフの継続した家庭訪問支援による効果が高い。また、臨床心理士によるカウンセリングにより、養育者の不安定さの軽減が図られ、安心な養育につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取に委託することにより、専任スタッフの確保と専門的・継続的な支援が可能。また、専門性を持った臨床心理士を週2日雇上げ、カウンセリングを実施。効果的に養育者の不安定さの解消が図れている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の導入については、個別に詳述した評価シートを作成し、所内で協議のうえ、特に支援の必要な家庭に対して実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	養育者による家庭での養育が、安全に適切かつ十分に行われるように、家庭内で継続的に支援を行ない、また、カウンセリングによる専門的な助言により、養育者の養育力を確保していくために必要かつ重要な事業であり、今後も事業の導入が必要な世帯の把握に努め、支援の拡充を図っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000482	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	こども家庭支援事業(こども家庭支援)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	こども家庭支援事業費			予算事業コード	01-03-02-01-60-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊産婦や18歳未満の児童に対する養育者等からの相談及び児童虐待通告相談への対応
意図 (どのような状態にするために)	児童の養育が十分に行われず、児童虐待のリスクを抱える養育者に対して、養育が適切かつ十分に行われるように支援し、児童虐待の発生を未然に防ぎ、子どもが安心安全に成長できるようにする。
手段 (どうするのか)	児童福祉に関する情報提供を行うとともに、家庭、その他からの相談に応じ、関係機関と連携を図り、必要な支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	児童虐待の相談等への対応 児童虐待防止、支援対策の検討 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 市民啓発	児童虐待の相談等への対応 児童虐待防止、支援対策の検討 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 市民啓発	児童虐待通告相談対応 児童虐待防止、支援対策の検討 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 市民啓発 妊娠届アンケート・相談等の実施 訪問、電話等による相談の実施	児童虐待通告相談対応 児童虐待防止、支援対策の検討 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 市民啓発 妊娠届アンケート・相談等の実施 訪問、電話等による相談の実施	児童虐待通告相談対応 児童虐待防止、支援対策の検討 鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 市民啓発 妊娠届アンケート・相談等の実施 訪問、電話等による相談の実施	
	年度別実績	通告・相談 212件 子育て相談ダイヤル 191件 健診時子育て相談 467件 早期母子支援 378件	通告・相談 163件 子育て相談ダイヤル 178件 健診時子育て相談 354件 早期母子支援 356件	通告・相談 238件 子育て相談ダイヤル 187件 健診時子育て相談 303件 早期母子支援 333件	通告・相談 279件 子育て相談ダイヤル 198件 健診時子育て相談 187件 早期母子支援375件 乳児一預かり20件 母子ショートステイ1件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	35,368	36,026	35,854	44,993	0	
	直接経費 A	5,380	6,322	6,714	7,383	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	82	1,751	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,380	6,322	6,632	5,632	0		
人件費 B	29,988	29,704	29,140	37,610	0		
職員数の内訳	正規職員	4.00	4.00	4.00	5.00	0.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	通告相談件数	件	目標	200	230	200	200	200
			実績	212	163	238	279	0	
	(指標の説明) 通告相談件数は、地域や関係機関等による子どもの見守り支援、虐待予防行動の現れである。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正・P30(健007)</p> <p>【事業の概要】 1 児童虐待の通告相談対応 2 児童虐待の予防・支援対策の検討 3 鳥取市要保護児童対策地域協議会の事務局 4 児童虐待防止に係る市民啓発に関すること 5 妊娠期から出産・子育て期までの包括的な子育て相談・支援に関すること</p> <p>【事業の成果】 妊娠期から出産や子育ての不安・悩み等の相談支援を行い、養育者が身近で安心して相談できることにより、安心して適切な養育につながり、児童虐待の未然防止が図れている。 平成24年度：通告相談件数163件、子育て相談ダイヤル178件、早期母子支援408件 平成25年度：通告相談件数238件、子育て相談ダイヤル187件、早期母子支援336件 平成26年度：通告相談件数279件、子育て相談ダイヤル198件、早期母子支援375件</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育てを行う養育者に対し、身近で分かりやすく、ワンストップで利用しやすい、妊娠期から出産・子育て期まで安心して相談出来る総合的相談支援の拠点整備を図っていく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	通告相談件数	106%	71%	119%	140%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市町村が児童虐待の透谷相談窓口として第一義的な責任を持つこととなり、児童虐待防止を図るために必要な事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保育園・幼稚園、学校、医療機関、民生児童委員など鳥取市要保護児童対策地域協議会の関係機関と連携により、重大な児童虐待に至らないように早期発見・早期対応が図れている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取市要保護児童対策地域協議会の関係機関との連携・役割分担を図りながら、継続的な支援により虐待防止を図っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	妊娠期から出産・子育て期と様々な機会を捉えて、養育の不安や困り感を抱えている養育者の相談・支援を行い、児童虐待予防を図っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	児童虐待防止について市民の理解を一層高めていくとともに、関係機関と連携を図りながら、育児に不安や困り感を抱える養育者等への相談・支援、児童虐待の未然防止、早期発見及び早期支援により、児童虐待防止事業を継続して行わなければならない。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000483	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	こども家庭支援事業(親と子のすこやか推進)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	親と子のすこやか推進事業費			予算事業コード	01-03-02-01-60-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	虐待には至ってないが強い養育不安や育児困難感を持つ親や、すでに虐待の疑いがある親
意図 (どのような状態にするために)	養育不安や育児困難感を抱える親が、安心して子育てが行え、児童虐待につながらないようにする。
手段 (どうするのか)	育児に関する情報交換や子育ての悩みなど、親同士が安心して語れる場の提供と、支援者のスキルアップを図る研修を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	虐待予防に関わるスタッフ研修 親と子の関係を考える会(らくだクラブ)の開催(毎月)	虐待予防に関わるスタッフ研修 親と子の関係を考える会(らくだクラブ)の開催(毎月)	親と子の関係を考える会(らくだクラブ)の開催(毎月) 虐待予防に関わるスタッフ研修	親と子の関係を考える会(らくだクラブ)の開催(毎月) 虐待予防に関わるスタッフ研修	親と子の関係を考える会(らくだクラブ)の開催(毎月) 虐待予防に関わるスタッフ研修	
	年度別実績	虐待予防に関わるスタッフ研修 1回開催、19名参加 親と子の関係を考える会(らくだクラブ) 12回実施、延べ70人参加	虐待予防に関わるスタッフ研修(要保護児童対策地域協議会関係機関研修と合わせて実施) 親と子の関係を考える会(らくだクラブ) 12回実施、延べ62人参加	虐待予防に関わるスタッフ研修 1回開催、88名参加 親と子の関係を考える会(らくだクラブ) 12回実施、延べ66人参加	虐待予防に関わるスタッフ研修 1回開催、63名参加 親と子の関係を考える会(らくだクラブ) 12回実施、延べ60人参加		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	532	528	514	532	0	
	直接経費 A	157	157	150	156	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	30	0	0	0	0
		一般財源	127	157	150	156	0
人件費 B	375	371	364	376	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.07	0.07	0.07	0.07	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	らくだクラブの開催回数	回	目標	12	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12	0
	(指標の説明) 毎月計画どおりに開催することで、参加する保護者の育児不安軽減につながる								
2	研修会参加者	人	目標	30	30	80	60	60	
			実績	19	15	88	63	0	
	(指標の説明) 親子の支援に関わる関係職員のスキルアップを図り、児童虐待防止につなげる								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P104(健052)</p> <p>【事業の概要】 1 強い育児不安や困り感を抱える保護者に対して、子育ての体験や悩みなどを、保護者同士が安心して語れる場を月一回提供 2 子育て支援・虐待予防に関わる関係機関支援者のスキルアップ研修</p> <p>【事業の成果】 1 子どもを託児に預け、親同士が自身の子育て体験を話し、共有することで自己肯定感が高められ、子育ての自信・安心につながっている。 平成24年度(親62人、児68人) 平成25年度(親66人、児63人) 平成26年度(親60人、児51人) 2 子育ての支援者に有効な研修を企画・実施し、参加者も増えている。 平成24年度 19人 平成25年度 88人 平成26年度 63人</p> <p>【今後の課題・方向性】 1 今後も育児に不安や悩みを抱える養育者が、自己肯定感を高め、自信を持って育児が行われるよう事業を継続していく。 2 支援者に習得してもらいたい研修を企画・実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	らくだクラブの開催回数	100%	100%	100%	100%	
	2	研修会参加者	63%	63%	110%	105%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	育児の悩みや不安を抱える養育者の自己肯定感を高めるためのグループワークの手法を取り入れ、前向きに子育てを行えるようにしていく。また、関係機関職員を対象とした虐待防止研修を開催し、早期発見・早期支援が行なえるようにスキルアップを図る。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	育児に悩みや不安を抱える養育者(母)が事業に参加し、同じ悩みや不安を共有することで自己肯定感が高まり、育児に向き合えるようになっている。また、研修会を継続的に行い、職員のスキルアップにつながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	らくだクラブ(グループカウンセリング)の参加者の満足度は高い。また子育て支援機関のスタッフに必要なスキルを習得してもらうように研修を企画している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	母子保健や児童福祉の関わりを通じて、育児の悩みや不安を抱える養育者を把握し、事業の案内を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	事業に参加している間、親は子どもを託児に預けて離れられ、親同士が子育て体験を話し、共有することで自己肯定感が高められ、リフレッシュして育児に向き合えるようになっている。また、子育て支援に関わる関係機関職員に対して継続的にスキルアップを図っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000460	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	児童発達支援事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり	事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む	根拠法令、根拠計画等	児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法
予算	予算事業名	児童発達支援事業費		会計区分	一般会計
	予算事業コード	01-03-02-01-59-01			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発達に障がいを持つ又は発達上の困難を抱える児童及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	児童の発達・成長に応じた一貫した支援を実施する
手段 (どうするのか)	専任の発達支援員及び心理相談員を配置し、保護者、保育園、幼稚園や小学校等からの相談に応じ、発達検査等を実施して、関係機関と連携しながら児童及び家族への支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・訪問療育等指導事業 ・外来療育等指導事業 ・施設支援一般指導事業	・発達支援員の配置 ・心理相談員の配置 ・発達相談 ・保育園、幼稚園訪問相談	・発達支援員の配置 ・心理相談員の配置 ・発達相談 ・保育園、幼稚園訪問相談、巡回指導	・発達支援員の配置 ・心理相談員の配置 ・発達相談 ・保育園、幼稚園訪問相談、巡回指導	・発達支援員の配置 ・心理相談員の配置 ・発達相談 ・保育園、幼稚園訪問相談、巡回指導	
	年度別実績	・訪問療育等指導事業 ・外来療育等指導事業 ・施設支援一般指導事業	・発達支援員の配置2名 ・心理相談員の配置1名 ・発達相談 94件 ・保育園、幼稚園訪問相談 334件	・発達支援員の配置2名 ・心理相談員の配置1名 ・発達相談 117件 ・保育園、幼稚園、学校訪問相談 343件 ・巡回指導 256件	・発達支援員の配置2名 ・心理相談員の配置1名 ・発達相談 193件 ・保育園、幼稚園、学校訪問相談 394件 ・巡回指導 228件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,067	12,217	26,584	37,000	0	
	直接経費 A	4,317	8,415	8,154	9,169	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,583	1,144	2,297	2,300	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,030	0	0	0	0
	一般財源	704	7,271	5,857	6,869	0	
人件費 B	750	3,802	18,430	27,831	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.00	2.00	3.70	0.00	
	嘱託職員	0.00	2.00	2.00	1.90	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	心理発達相談件数	件	目標	315	100	100	100	100
		実績		713	94	117	193	0	
	(指標の説明) 相談対応件数								
2	園訪問及び相談件数	件	目標	0	360	360	360	360	
	実績		0	334	343	370	0		
3	(指標の説明) 訪問活動数及び相談件数		目標	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 発達支援係 0857-33-4012</p> <p>【9次総の施策体系】 1011</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発達支援員及び心理相談員による個別の発達相談・発達検査 2 鳥取市障がい児等保育における発達支援保育指導委員会巡回指導の実施 3 市内の保育園・幼稚園等に対する保育訪問相談の実施 4 発達支援に関する関係者及び市民に対する啓発・研修 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 専任の発達支援員及び心理相談員を配置することで、障害を持つ子どもの成長段階に応じた一貫した支援及びその家族の支援を行うことができた。 2 広く発達障がいに関する理解、地域への普及啓発のための研修を実施したり、保育園等に対して、訪問相談や巡回指導を行うことで、支援の充実につなげた。 <p>24年度：児童発達相談762件、関係機関職員等研修会2回、市民向け研修会1回 発達支援保育指導委員会判定会議1回（対象児135名） 巡回指導49日（対象児135名×2回）</p> <p>25年度：児童発達相談904件、関係機関職員等研修会2回、市民向け研修会1回 発達支援保育指導委員会判定会議1回（対象児136名） 巡回指導50日（対象児136名×2回）</p> <p>26年度：児童発達相談1,134件、関係機関職員等研修会4回、市民向け研修会2回 発達支援保育指導委員会判定会議1回（対象児114名） 巡回指導56日（対象児114名×2回）</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>発達上の困難を抱える児童の発達を保障し、家族を支援するため、今後も児童を取り巻く身近な支援者や地域の発達障がいに対する理解も深めていけるよう専門員や専門講師による相談及び研修の機会を拡充する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	心理発達相談件数	226%	94%	117%	193%	
	2	園訪問及び相談件数			95%	103%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	幼児期早期から気軽に相談ができ、個のニーズに添った支援を適切に提供することで、生涯を見通した支援につなげるため、来所、訪問等様々な形で応じる相談支援の充実が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	個別での相談で児童の発達評価を実施することで、保護者や園、学校等における支援者の発達理解を共有しながら、個に応じた適切な指導や教育を提供できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	発達支援の窓口である当センターに心理士、発達支援員を配属することで、幼児期早期から、成長発達を見据えた適切な発達評価を行うことで、支援者(保育者や教師等)と一緒に児童やその家族を支える体制を作ることができる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	発達上の困難を抱える児童の保護者が早期から相談できるよう、出生時から関わる保健センターや集団生活を支える保育園、幼稚園、学校等とも連携をしながら、継続した相談支援の充実をはかっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	障がいのある、又は、発達上の困難を抱える児童やその家族への支援が、将来を見通した支援となるよう、今後も発達支援員や心理相談員による専門的な相談機会の拡充をはかっていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002902	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	親子通所療育事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しみ」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	親子通所療育事業費			予算事業コード	01-03-02-01-59-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発達障がい等の診断が未確定な時期にある年齢の幼児で、発達上の困難を抱える子どもとその保護者
意図 (どのような状態にするために)	親子で遊ぶ体験を通して、保護者が子どもとのかかわり方を学び、子どもの発達の特徴や障がいを理解し、子育てに向かっていくきっかけを提供する。
手段 (どうするのか)	発達支援員・保育士等の専門員による親子遊びの実践及び保護者の子育てに関する意見交換や勉強会を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			月4回「らっこクラス」の実施	月4回「らっこクラス」の実施	月4回「らっこクラス」の実施	
	年度別実績			・らっこクラスの実施 年 41回 延351組	・らっこクラスの実施 年 45回 延296組		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	2,478	2,554	0	
	直接経費 A	0	0	292	297	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	292	297	0
人件費 B	0	0	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.40	0.10	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	「らっこクラス」の開催回数	回	目標	0	0	42	45	45
				実績	0	0	41	45	0
	(指標の説明) 毎週開催することで参加しやすくなり、親の育児の困り感の軽減と子どもの成長発達につながる。								
2	参加親子数	組	目標	0	0	340	360	360	
			実績	0	0	351	296	0	
(指標の説明) 「らっこクラス」延べ利用親子数									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】 発達支援係 0857-33-4012</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P103 (健050)</p> <p>【事業の概要】 発達障がい又はその疑いのある又は成長や発達に心配や不安のある概ね2～3歳の幼児及びその保護者を対象とした療育活動 具体的には、週1回、10～12組程度の対象親子に対し、保育士及び発達支援員による療育プログラムの実施、保護者への療育指導、交流等を実施した。</p> <p>【事業の成果】 主に家庭にいて、発達に困難感を抱える幼児に対する発達支援を行うことによる発達促進と、その児の子育てに困り感を抱える親に対し、親子遊びを中心とした児への接し方を伝え、共に児の発達を共有するとともに、教室後のスムーズな就園移行を行った。 平成24年度(11月～3月)：開催8回、実7組 延53組参加 平成25年度(4月～3月)：開催41回、実22組 延351組参加 平成26年度(4月～3月)：開催45回、実17組 延296組参加</p> <p>【今後の課題・方向性】 保育園や幼稚園の就園前に、家庭以外の小集団の場所として、児童の発達を促し、保護者の子どもの理解と将来を見通せる力をつけていけるよう、今後も週1回の開催により療育の場を確保し、幼児期の療育の充実を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	「らっこクラス」の開催回数			98%	100%	
	2	参加親子数			103%	82%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	発達上の困難を抱える幼児の子育てについて、保護者の児に対する育てにくさを共感し、今後の子育てへの前向きな気持ちや見通しをもつことにつながる機会が求められており、児の特性にあった活動を取り入れた事業として実施している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保育園、幼稚園の集団生活が始まるまでの時期において、困難感を抱える親子への療育を提供することで、児の発達促進、保護者への発達理解、保護者同士のつながりの場となり、今後の就園、療育にむけた移行支援の充実をはかることができている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	発達上の困難を抱える児童の早期からの適切な対応を保育士等が提供し、保護者と共有していくことで、児童の特性への見通しや、保護者の今後の子育てへの前向きな姿につながることは、子育てへのよい効果がうまれている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象児は今後療育や、集団生活の中での発達支援が必要であると見込まれる児童としており、保健センターでの親子教育や、他機関(医療機関含む)からの紹介により選定し、保護者の意向に沿ったタイムリーな支援ができている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	発達上の困難を抱える児をもつ保護者にとって、就園前の家庭以外的小集団の場所として、他児や、保護者同士の交流を通じ、児の発達促進、発達理解、将来を見通せる力をつけていくきっかけとなっている。今後もより専門性、内容の充実をはかりながら拡充をはかる。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000403	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別保育事業(市立保育園特別保育)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり	事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む	根拠法令、根拠計画等	鳥取市延長保育実施要綱、鳥取市休日保育事業実施要綱、鳥取市一時預かり事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法
予算	予算事業名	市立保育園特別保育事業費	予算事業コード	01-03-02-03-01-03	
			会計区分	一般会計	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市立保育園入所児童
意図 (どのような状態にするために)	勤務時間の多様化により、延長保育、休日保育など利用者の要望に応えた保育業務を実施し、福祉の充実、子育てしやすいまちづくりを実現する。
手段 (どうするのか)	延長保育、一時預り、休日保育など保護者の要望に応えた保育業務を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・延長保育 22,000人 ・一時預り 1,000人 ・休日保育 140人	・延長保育 22,000人 ・一時預り 1,000人 ・休日保育 140人	・延長保育 21,000人 ・一時保育 900人 ・休日保育 400人	・延長保育 21,000人 ・一時保育 900人 ・休日保育 400人	・延長保育 21,000人 ・一時保育 900人 ・休日保育 400人	
	年度別実績	・延長保育 22,349人 ・一時預り 878人 ・休日保育 187人	・延長保育 21,675人 ・一時預り 1,047人 ・休日保育 361人	・延長保育 21,041人 ・一時保育 1,170人 ・休日保育 340人	・延長保育 17,177人 ・一時保育 1,159人 ・休日保育 381人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	83,832	90,533	88,177	63,803	0	
	直接経費 A	83,082	89,790	87,448	63,051	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,886	11,692	9,730	9,906	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6,921	7,438	7,364	6,747	0
	一般財源	67,275	70,660	70,354	46,398	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	延長保育利用人数	人	目標	22000	22000	21000	21000	21000
		実績		22349	21675	21041	17177	0	
	(指標の説明) 延長保育を利用する延べ人数を示すもの								
2	一時保育利用人数	人	目標	1000	1000	900	900	900	
			実績	878	1047	1170	1159	0	
(指標の説明) 一時保育を利用する延べ人数を示すもの									
3	休日保育利用人数	人	目標	140	140	400	400	400	
			実績	187	361	340	381	0	
(指標の説明) 休日保育を利用する延べ人数を示すもの									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 8 6 (健0 1 6)</p> <p>【事業の概要】 勤務時間の多様化により、保育時間の延長、休日の保育園利用の要望がある。利用者の要望に応えた保育業務を実施することで、仕事と子育てとの両立を支援し、安心して子育てができる環境の充実を図る。</p> <p>【事業の成果】 1. 延長保育：通常18時までの預かり時間を最長19時半まで延長するもの。 実施保育園16園 (旧市×7、国府×2、福部×1、河原×1、用瀬×1、気高×2、鹿野×1、青谷×1) 2. 一時保育：保護者の都合等で非入園児童の預かりを一日単位で行なうもの。 実施保育園5園 (河原×1、用瀬×1、気高×1、鹿野×1、青谷×1、旧市は私立のみ4園が実施) 3. 休日保育：日曜、祝日の保育要望に応えるもの。 実施保育園1園 (千代保育園)</p> <p>【今後の課題・方向性】 当面現状を維持するが、未実施園について保育ニーズを確認しながら、施設整備と併せて検討していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、延長保育促進利用者負担金、一時保育事業利用者負担金、休日保育事業利用者負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延長保育利用人数	102%	99%	100%	82%	
	2	一時保育利用人数	88%	88%	130%	129%	
	3	休日保育利用人数	134%	258%	85%	95%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	利用者の要望に応えた保育がなされ、安心して子育てができる環境を提供できている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保護者の要望に応えた内容での業務を実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	勤務時間の多様化に伴う保護者ニーズに応えるための事業実施をしている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	利用に応じた料金設定がなされ、公平にサービスの提供ができている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	当面現状を維持するが、未実施園について保育ニーズを確認しながら、施設整備と併せて検討していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000441	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別保育事業(病児・病後児保育)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市病児・病後児保育事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	病児・病後児保育事業費			予算事業コード	01-03-02-03-18-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	病気治療中、回復期の児童をもつ家庭。
意図 (どのような状態にするために)	保護者の勤務等により家庭で保育ができない病気児童、病後回復児童を預かることにより、仕事と育児の両立支援を図る。
手段 (どうするのか)	保育所等に通所する児童で、治療中、病気回復期で集団での保育が困難な場合に、一時的に別に設ける専用施設で保育する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・2医療機関(鳥取医療生協、鳥取市立病院)に委託 ・保育園3園で実施	平成24年度 ・2医療機関(鳥取医療生協、鳥取市立病院)に委託 ・保育園3園で実施	平成25年度 ・2医療機関(鳥取医療生協、鳥取市立病院)、NPO法人KiRALiに委託 ・保育園3園で実施	平成26年度 ・2医療機関(鳥取医療生協、鳥取市立病院)、NPO法人KiRALiに委託 ・保育園3園で実施	平成27年度 ・2医療機関(鳥取医療生協、鳥取市立病院)に委託 ・保育園3園で実施	
	年度別実績	鳥取医療生協 1,029人 鳥取市立病院 293人 散岐保育園 11人 ひかり保育園 18人 すくすく保育園 68人	鳥取医療生協 1,213人 鳥取市立病院 274人 散岐保育園 10人 ひかり保育園 11人 すくすく保育園 73人	鳥取医療生協 1,211人 鳥取市立病院 267人 散岐保育園 2人 ひかり保育園 16人 すくすく保育園 130人 KiRALi 78人	鳥取医療生協 1,132人 鳥取市立病院 243人 散岐保育園 4人 ひかり保育園 16人 すくすく保育園 85人 KiRALi 81人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	30,071	35,988	39,845	35,357	0	
	直接経費 A	29,321	35,245	39,116	34,605	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	18,868	20,178	21,916	21,719	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	806	539	551	513	0
		一般財源	9,647	14,528	16,649	12,373	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		病児・病後児保育利用人数	人	目標	1030	1030	1500	1500	1500
	(指標の説明)		実績	1419	1581	1704	1561	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P89 (健021)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①病児保育事業 (せいきょうこどもクリニック) 児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かることにより、親の子育てと仕事との両立支援を図る。せいきょうこどもクリニックで実施。</p> <p>②病後児保育事業 病気回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かることにより、児童の健全育成と親の子育てと仕事との両立支援を図る。</p> <p>③非施設型病児・病後児保育事業 (NPO法人K i R A L i) 病気回復期で集団保育が出来ない児童を施設で預かるのではなく、子どもの家に保育者が伺い病児・病後児保育を行い、親の子育てと仕事との両立支援を図る。</p> <p style="text-align: center;">利用時間 利用料金</p> <p>せいきょうこどもクリニック 8:00~18:00 2,500円/日 (2回目以降1,000円)</p> <p>市立病院 8:00~18:00 2,500円/日 (2回目以降1,000円)</p> <p>散岐保育園 8:30~17:30 500円/日</p> <p>すくすく保育園 8:30~17:30 500円/日</p> <p>ひかり保育園 8:30~17:30 500円/日</p> <p>NPO法人K i R A L i 8:30~18:30 500円/時間 (別途登録料)</p> <p>【事業の成果】</p> <p>平成24年度: 1,581人、平成25年度: 1,708人、平成26年度: 1,561人</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>保護者のニーズが年々高まっていることから、今後拡大の方向で検討していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、病児・病後児保育利用者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	病児・病後児保育利用人数	138%	153%	114%	104%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	保護者からの要望の高い事業であり、安心して子育てができる環境を継続して提供する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保護者の勤務等により家庭で保育ができない、病気中や病気回復期にある児童を預かることにより、仕事と育児の両立支援を図ることができる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	医療機関に委託するなど、利用者が安心して利用できる事業となっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	利用に応じた料金設定がなされ、公平なサービスが提供できている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本年度は、インフルエンザ等の流行期間が短かったこともあり昨年度に比べて利用者数は減少しているが、保護者のニーズは非常に高く、今後拡大の方向で検討していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000384	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援短期利用事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法、鳥取市子育て支援短期利用事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子育て支援短期利用事業費			予算事業コード	01-03-02-01-14-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内在住の児童保護者
意図 (どのような状態にするために)	保護者が疾病等で家庭における保育が一時的に困難となった児童を短期間預かることで、児童及びその家庭の生活を支援する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 (鳥取こども学園、青谷こども学園に委託して実施)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 ショートステイ (2歳未満) 24件 (2歳以上) 250件 トワイライトステイ 夜間 130件 休日 130件	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業	
	年度別実績	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 ショートステイ (2歳未満) 25件 (2歳以上) 468件 トワイライトステイ 夜間 59件 休日 139件	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 ショートステイ (2歳未満) 32件 (2歳以上) 269件 トワイライトステイ 夜間 40件 休日 134件	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 ショートステイ (2歳未満) 32件 (2歳以上) 449件 トワイライトステイ 夜間 45件 休日 88件	事業の委託実施 ・ショートステイ事業 ・トワイライトステイ事業 ショートステイ (2歳未満) 119件 (2歳以上) 512件 トワイライトステイ 夜間 32件 休日 71件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,994	4,871	5,303	6,586	0	
	直接経費 A	3,745	2,643	3,117	4,329	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,595	209	1,300	2,410	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	223	283	215	510	0
	一般財源	1,927	2,151	1,602	1,409	0	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	延べ利用日数	日	目標	300	300	400	400	700
				実績	703	475	614	734	0
	(指標の説明) ショートステイ、トワイライトステイを利用する日数を示すもの								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 8 3 (健 0 1 0)</p> <p>【事業の概要】 仕事、疾病、家庭の事情等により一時的に家庭での育児が困難なとき、その間の養育を頼れる支援者のない保護者を支援するため、宿泊を伴うショートステイ事業及び平日の夜間・休日のトワイライトステイ事業による一時預かりを実施。</p> <p>【事業の成果】 ショートステイ及びトワイライトステイ事業の利用件数は増加傾向にあり、事業の必要性が増している。 平成24年度利用延べ日数(ショートステイ301日、トワイライトステイ174日) 平成25年度利用延べ日数(ショートステイ481日、トワイライトステイ133日) 平成26年度利用延べ日数(ショートステイ631日、トワイライトステイ103日)</p> <p>【今後の課題・方向性】 保護者の養育支援や児童の健全育成が図られる環境を確保するため、制度を継続して維持する。また、緊急的な日中の一時預かりの要望に応えられるよう、制度の拡充が望まれる。</p> <p>※その他財源の諸収入は、子育て支援短期利用者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延べ利用日数	234%	158%	154%	184%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	仕事、病気、家庭の事情等の理由により子育てが出来ない状況になったとき保護者の負担軽減が図られている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	利用者が大幅に伸びており、事業の必要性が増している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	児童養護施設と委託により事業を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	夜間、宿泊を伴う一時預かりが必要な保護者が対象であり、利用者負担の基準も明確である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	保護者の養育支援や児童の健全育成の環境を確保するため、制度を継続して維持する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000380	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後児童対策事業(放課後児童対策)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成3年度～全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	放課後児童健全育成事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成28年度	事業分類区分	施設管理
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	0%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名	放課後児童対策事業費		予算事業コード	01-03-02-01-10-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで児童の健全育成を図る。
手段 (どうするのか)	小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	平成24年度 放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	平成25年度 放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	平成26年度 放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	平成27年度 放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	
	年度別実績	放課後児童クラブ43クラブを開設し、保護者会等に委託し運営	放課後児童クラブ45クラブを開設し、保護者会等に委託し運営	放課後児童クラブ45クラブを開設し、保護者会等に委託し運営	放課後児童クラブ47クラブを開設し、保護者会等に委託し運営		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	269,905	228,352	248,269	309,699	0	
	直接経費 A	258,659	217,213	237,341	292,398	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	138,216	119,161	129,559	165,396	0
		地方債	28,200	0	2,300	10,100	0
		その他	0	0	0	3	0
	一般財源	92,243	98,052	105,482	116,899	0	
人件費 B	11,246	11,139	10,928	17,301	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	2.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	児童クラブ設置数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	42	44	45	46	46	
			実績	43	45	45	47	0		
	(指標の説明) 児童クラブの設置数									
	2	児童クラブ利用者数	人	目標	0	0	0	1935	2127	
				実績	1505	1636	1749	1918	0	
(指標の説明) 児童クラブの入級児童数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 232 (教009)、6月補正予算・P 71 (教012)、 9月補正予算・P 25 (教002)、12月補正予算・P 38 (教005)</p> <p>【事業の概要】 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の育成支援に資するため、放課後児童クラブの運営を行う。</p> <p>【事業の成果】 ○47クラブの運営 利用者数1,918人 ○専用施設整備(米里)、分割・新設(城北砂山第二・末恒第二)、拡充(賀露等)</p> <p>【今後の課題・方向性】 共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くものと考えている。また、平成27年度から施行の子ども・子育て支援新制度により、小学校4年生以上も対象児童とされたことも踏まえ、大規模化が進行している児童クラブの分割等に引き続き取り組む。 このため、学校内の利用可能なスペースを第一に、保護者会等及び学校と連携して、更なる開設場所の確保に取り組む。 また、新制度により、平成27年度から指導員の認定資格研修を県が実施することとなっている。本市としては、受講の促進を図り、有資格者(放課後児童支援員)を養成していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	児童クラブ設置数	102%	102%	100%	102%	
	2	児童クラブ利用者数				99%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	対象と意図は明確であり、目的は適切であった。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	放課後児童対策として有効な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保護者会運営は地域の実情にあった運営が可能で、かつ市の事務のコストを抑えられることから一定の効率性があるが、現行の保護者会への委託のあり方については、引き続き検討する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	児童クラブの実情にあったサービスが提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くものと考えている。このため、保護者会等及び学校と連携して、更なる開設場所の確保に取り組む。また、県が実施する指導員の認定資格研修の受講の促進を図る。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000496	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後児童対策事業(放課後子ども教室推進)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	放課後子ども教室推進事業費(学校教育課)			予算事業コード	01-09-04-02-17-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・気高地域)運営委員会の開催	平成24年度 放課後子ども教室の設置運営委員会の開催	平成25年度 放課後子ども教室の設置運営委員会の開催	平成26年度 放課後子ども教室の設置運営委員会の開催	平成27年度 放課後子ども教室の設置運営委員会の開催	
	年度別実績	放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)運営委員会の開催	放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)運営委員会の開催	放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)運営委員会の開催	放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)運営委員会の開催		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,157	10,528	9,733	10,009	0	
	直接経費 A	9,408	6,815	6,090	6,248	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,955	4,543	3,907	4,026	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,453	2,272	2,183	2,222	0	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		放課後子ども教室設置数	箇所	目標	4	4	4	3	3	
			実績	3	3	3	3	0		
	(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 3 (教0 3 2)</p> <p>【事業の概要】 放課後や長期休暇における地域の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保するとともに、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。また事業の円滑な実施や、より充実した魅力のある事業にするため、放課後子ども教室運営委員会を開催する。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 東郷小・明治小・神戸小で開催 6,815,190円 平成25年度 東郷小・明治小・神戸小で開催 6,089,764円 平成26年度 東郷小・明治小・神戸小で開催 6,248,139円</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業実施地域の評価・ニーズとも高く、地域性を重視しながら、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい中山間地域の小規模校において実施していく方針である。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放課後子ども教室設置数	75%	75%	75%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	放課後児童クラブを開設するのが難しい小規模校を開設しており、一定の支援が必要。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	概ね好評である。特に保護者のニーズは高いものがある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域住民の協力のもと事業を行っており、それぞれの地域の実情やニーズにあった柔軟な運営形態を取っている。また、国・県補助率が2/3の事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	放課後児童クラブの開設が難しいクラブに創設しており、対象は適性と考えらる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市では、全小学校区で放課後や長期休暇時において、安心・安全な居場所を確保することが望ましいと考えており、「放課後児童クラブ」を開設できない校区においては「子ども教室」を実施している。いまだ3校区/44校区中においては開設できていないが、必要性や地域性を考慮しながら開設を考えていきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002652	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園耐震改修等事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	保育園耐震改修等事業費			予算事業コード	01-03-02-03-05-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	耐震性の低い保育園
意図 (どのような状態にするために)	安全で安心な保育環境の整備
手段 (どうするのか)	耐震改修事業の実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			保育園耐震整備 2園	保育園耐震整備 2園	保育園耐震整備 2園	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	51,531	72,209	1,010,248	0	
	直接経費 A	0	51,531	64,924	1,002,726	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	32,920	0
		地方債	0	39,800	45,600	916,600	0
		その他	0	1	40	0	0
		一般財源	0	11,730	19,284	53,206	0
	人件費 B	0	0	7,285	7,522	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		耐震整備園数	園	目標	0	0	2	2	2
	(指標の説明) 耐震整備を行った保育園の数				実績	0	0	2	0
	2				目標	0	0	0	0
		(指標の説明)				実績	0	0	0
	3				目標	0	0	0	0
(指標の説明)				実績	0	0	0		

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 8 8 (健020)、6月補正・P 2 8 (健004)</p> <p>【事業の概要】 耐震診断の結果、耐震性の低い保育園の早期改築を行うことで、安心・安全な保育環境を整備し、併せて施設収容力を拡大することによる待機児童対策を行う。</p> <p>【事業の成果】 富桑保育園、賀露保育園、美和保育園(2期)の改築工事を実施。 白兔保育園、美和保育園の解体及び外構工事を実施。 美保保育園の基本設計・実施設計、地質調査の実施。</p> <p>【今後の課題・方向性】 計画的に耐震改修を進め、利用者の安心安全を確保する。 平成27年度：富桑・賀露保育園の解体・外構工事 美保保育園の改築工事</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	耐震整備園数			100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童の安心安全を守るため、耐震性の低い保育園を改修することは最優先で行うべき事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	耐震性の確保により成果は上がっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	耐震改修と併せ、定員数を増やすことにより待機児童対策も行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次計画で行っているため適切であると考ええる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	計画的に耐震改修を進め、利用者の安心安全を確保する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000385	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ファミリーサポートセンター事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱、ファミリー・サポート・センター事業交付金要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ファミリーサポートセンター事業費		予算事業コード	01-03-02-01-15-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	保育園の送迎、放課後の児童預かり等のサービスを提供したい人とサービスを受けたい人。
意図 (どのような状態にするために)	育児の援助を必要とする会員と育児をする会員が相互に援助活動を行うことにより、仕事と家庭を両立し安心して働ける環境をつくる。
手段 (どうするのか)	ファミリーサポートセンター事業の委託実施。 (鳥取市社会福祉協議会に委託)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・ファミリーサポートセンター事業の委託実施	平成24年度 ・ファミリーサポートセンター事業の委託実施	平成25年度 ・ファミリーサポートセンター事業の委託実施	平成26年度 ・ファミリーサポートセンター事業の委託実施	平成27年度 ・ファミリーサポートセンター事業の委託実施	
	年度別実績	・ファミリーサポートセンター事業の委託実施 依頼会員 873人 提供会員 140人 両方会員 36人 活動件数 2,084回	・ファミリーサポートセンター事業の委託実施 依頼会員 953人 提供会員 118人 両方会員 25人 活動件数 1,876回	・ファミリーサポートセンター事業の委託実施 依頼会員 974人 提供会員 83人 両方会員 22人 活動件数 2,138回	・ファミリーサポートセンター事業の委託実施 依頼会員 976人 提供会員 77人 両方会員 23人 活動件数 1,586回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,932	8,233	8,089	8,032	0	
	直接経費 A	7,182	7,490	7,360	7,280	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,783	3,745	3,781	4,852	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,399	3,745	3,579	2,428	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	サービス提供件数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			件	目標	2613	2613	2000	2000	2000	
			実績	2084	1876	2138	1586	0		
	(指標の説明) 提供会員の活動実績を表すもの									
	2	会員登録	人	目標	1050	1050	1080	1080	1080	
				実績	1049	1096	1079	1076	0	
(指標の説明) 依頼会員、提供会員、両方会員の登録数										
3	研修会開催	回	目標	7	7	10	10	10		
			実績	12	18	18	20	0		
(指標の説明) 各種会員研修会の開催										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 保育園の送迎、放課後の児童預かり等のサービスを受けたい声があり、その解消策としてファミリーサポートセンターを運営している。 サービスを提供できる人(提供会員)とサービスを受けたい人(依頼会員)との橋渡しを行なうことで、育児負担の軽減、仕事と家庭の両立を図る。</p> <p>【事業の成果】 社団法人鳥取市社会福祉協議会に事業委託。 会員数 活動件数 24年度 1,071人 1,876回 25年度 1,079人 2,138回 26年度 1,076人 1,586回</p> <p>【今後の課題・方向性】 育児の負担軽減、仕事と家庭の両立を支援するため、継続して事業を実施する。 依頼会員に比べて提供会員の人数が年々減少傾向にある。 広報等により、引き続き提供会員を増やす努力を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	サービス提供件数	80%	72%	107%	79%	
	2	会員登録	100%	100%	100%	100%	
	3	研修会開催	171%	257%	180%	200%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	サービスを提供できる人とサービスを受けたい人との橋渡しにより、育児負担の軽減・仕事と家庭の両立支援を図っている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	保育園への入所、子育て短期支援事業、一時預かり事業等、子育て支援事業の補完事業として利用者の利便性の向上が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事務の効率化を図るため委託により事業を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	会員登録により、依頼会員・提供会員のマッチングによりサービス提供に至るため、事業に対する利用者の公平性が保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	育児の負担軽減、仕事と家庭の両立を支援するため、事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000492	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金			予算事業コード	01-09-01-04-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	私立幼稚園に就園させている保護者
意図 (どのような状態にするために)	私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する。
手段 (どうするのか)	私立幼稚園の入園料・授業料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 私立保育園就園奨励費補助金交付	平成24年度 私立保育園就園奨励費補助金交付	平成25年度 私立保育園就園奨励費補助金交付	平成26年度 私立保育園就園奨励費補助金交付	平成27年度 私立保育園就園奨励費補助金交付	
	年度別実績	私立保育園就園奨励費補助金交付 1,222人	私立保育園就園奨励費補助金交付 1,109人	私立保育園就園奨励費補助金交付 1,037人	私立保育園就園奨励費補助金交付 1,098人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	100,987	89,964	91,097	95,837	0	
	直接経費 A	99,488	88,479	89,640	94,333	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	22,257	20,355	21,516	22,697	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	77,231	68,124	68,124	71,636	0
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	交付人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			人	目標	1200	1200	1000	1000	1000
	(指標の説明)	私立幼稚園就園奨励費補助金交付者数	実績	1222	1109	1037	1098	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 9 0 (健 0 2 4)、9月補正・P 1 1 (健 0 0 6)</p> <p>【事業の概要】 私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する補助制度を設けている。保護者の経済的負担を軽減することで、幼稚園入園を促され、子どもが幼稚園での集団生活を経験すること等により社会性の発達に資するもの。</p> <p>【事業の成果】 私立幼稚園の入園料、授業料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する幼稚園に対し補助金を交付する。 また、私立幼稚園における2歳児の就園促進を図るため、平成25年度より2歳児においても適用。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">対象人数</td> <td style="text-align: center;">補助金額</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td style="text-align: center;">1, 109人</td> <td style="text-align: center;">88, 478千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: center;">1, 037人</td> <td style="text-align: center;">89, 640千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">1, 098人</td> <td style="text-align: center;">94, 333千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施する。 新制度に移行する幼稚園(認定こども園)の園児との整合を図る。</p>		対象人数	補助金額	平成24年度	1, 109人	88, 478千円	平成25年度	1, 037人	89, 640千円	平成26年度	1, 098人	94, 333千円
	対象人数	補助金額											
平成24年度	1, 109人	88, 478千円											
平成25年度	1, 037人	89, 640千円											
平成26年度	1, 098人	94, 333千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交付人数	102%	92%	104%	110%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	保護者の負担軽減により、私立幼稚園への就園が促進される。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	幼稚園への就園が促進され、幼稚園での集団生活を経験する等、社会性の発達に資する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保護者への保育料等の補助により、私立幼稚園への就園が促進される。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	私立幼稚園に就園している児童の保護者が対象となっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施する。 新制度に移行する幼稚園(認定こども園)の園児との整合を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000406	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援センター事業(地域子育て支援センター)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱、鳥取市地域子育て支援センター事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域子育て支援センター管理費			予算事業コード	01-03-02-03-01-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未就園児等及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
手段 (どうするのか)	公立子育て支援センター(9か所 美保、みやこ、福部、河原、用瀬、さじ、浜村、こじか、すくすく)の運営

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 公立子育て支援センター(9か所)の運営	平成24年度 公立子育て支援センター(9か所)の運営	平成25年度 公立子育て支援センター(9か所)の運営	平成26年度 公立子育て支援センター(9か所)の運営	平成27年度 公立子育て支援センター(9か所)の運営	
	年度別実績	公立子育て支援センター(9か所) 27,507人	公立子育て支援センター(9か所) 27,839人	公立子育て支援センター(9か所) 31,712人	公立子育て支援センター(9か所) 33,493人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	32,493	31,306	33,774	32,523	0	
	直接経費 A	31,743	30,563	33,045	31,771	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,557	9,863	16,523	20,998	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	18	0	0
	一般財源	20,186	20,700	16,504	10,773	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	14.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	延べ利用保護者数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	0	0	12000	12000	12000			
	実績	0	0	14474	15461	0				
(指標の説明) 公立地域子育て支援センターを利用した延べ保護者数										
2	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 子どもが保育園等に通っていない、就学前の子どものいる家庭に対する育児支援が求められる。 地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、未就園家庭の集い、支援の場として保育園に支援センターを設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うもの。</p> <p>【事業の成果】 ○育児不安等についての相談、支援の実施 ○地域の保育資源の情報提供 ○子育て親子の交流の場の提供と保護者間等の交流の促進 ○子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ○地域の方や老人会を講師に招き親子教室で物づくり体験実施 設置園 センター型：美保、河原、みやこ、浜村、すくすく 小規模型：福部、用瀬、さじ、こじか 利用人数：24年度 27,507人、25年度 31,712人、26年度 33,493人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延べ利用保護者数			121%	129%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもが保育園等に通ってなく、就学前の子どものいる家庭に対する育児支援は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域の方や老人会を講師に招き親子教室で物づくり体験を実施したり、地域の納涼祭や運動会への参加など、地域全体で子育てをする基盤の形成が図られ、保護者の育児不安の解消となっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	就学前の子どもがいる保護者にとって利用しやすい保育園に設置し、育児支援の環境整備に努めている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域と連携を取りながら、就学前の子どものいる家庭に広く利用されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000436	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援センター事業(私立子育て支援センター)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱、鳥取市地域子育て支援センター事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	私立子育て支援センター事業費			予算事業コード	01-03-02-03-08-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未就学児及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
手段 (どうするのか)	私立子育て支援センター(2か所 鳥取みどり、さとに)の運営

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 私立子育て支援センター(2か所)の運営	平成24年度 私立子育て支援センター(2か所)の運営	平成25年度 私立子育て支援センター(2か所)の運営	平成26年度 私立子育て支援センター(2か所)の運営	平成27年度 私立子育て支援センター(2か所)の運営	
	年度別実績	10,561人	10,102人	11,591人	11,934人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,576	15,569	15,323	15,346	0	
	直接経費 A	14,826	14,826	14,594	14,594	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,413	9,728	7,297	9,728	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,413	5,098	7,297	4,866	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	延べ利用保護者数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	0	0	4500	4500	4500			
	実績	0	0	5338	5605	0				
(指標の説明) 私立子育て支援センターを利用した延べ保護者数										
2	育児講座参加延べ保護者数	単位	人	目標	0	0	300	300	300	
	実績	0	0	361	417	0				
(指標の説明) 私立子育て支援センターの育児講座に参加した保護者数										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経緯】 なし</p> <p>【事業の概要】 子どもが保育園等に通っていない、就学前の子どものいる家庭に対する育児支援が求められる。 地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、未就園家庭の集い、支援の場として保育園に支援センターを設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うもの。</p> <p>【事業の成果】 ○育児不安等についての相談、支援の実施 ○地域の保育資源の情報提供 ○子育て親子の交流の場の提供と保護者間等の交流の促進 ○子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ○地域の方や老人会を講師に招き、親子教室で物づくり体験を実施 私立保育園における地域子育て支援センター実施園 ・さとに保育園(なかよし子育て支援センター) ・鳥取みどり園(わくわく子育て支援センター) 利用人数 24年度: 10,102人、25年度: 11,591人、26年度: 11,934人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延べ利用保護者数			119%	125%	
	2	育児講座参加延べ保護者数			120%	139%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもが保育園等に通っていない就学前の子どものいる家庭に対する育児支援は必要である
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域の方や老人会を講師に招き親子教室で物づくり体験を実施したり、地域の納涼祭や運動会への参加など、地域全体で子育てをする基盤の形成が図られ、保護者の育児不安の解消となっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	就学前の子どもがいる保護者にとって必要。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域と連携を取りながら、就学前の子どもがいる家庭に広く利用されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000449	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援センター事業(子育て支援センター)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱、鳥取市地域子育て支援センター実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子育て支援センター運営委託費			予算事業コード	01-03-02-04-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未就学児及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
手段 (どうするのか)	子育て支援センター(こぼと)の運営

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 子育て支援センター(こぼと)の運営	平成24年度 子育て支援センター(こぼと)の運営	平成25年度 子育て支援センター(こぼと)の運営	平成26年度 子育て支援センター(こぼと)の運営	平成27年度 子育て支援センター(こぼと)の運営	
	年度別実績	4,275人	4,615人	5,525人	5,979人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,163	8,156	8,026	8,049	0	
	直接経費 A	7,413	7,413	7,297	7,297	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,706	4,864	3,648	4,864	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,707	2,549	3,649	2,433	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	延べ利用保護者数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			実績	0	0	2000	2000	2000				
	(指標の説明) 子育て支援センター(こぼと)を利用した延べ保護者数											
	2	育児講座参加延べ保護者数	単位	人	区分	目標	0	0	150	150	150	
			実績	0	0	127	1700	0				
	(指標の説明) 子育て支援センター(こぼと)の育児講座に参加した保護者数											
3		区分	目標	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 子どもが保育園等に通っていない、就学前の子どものいる家庭に対する育児支援が求められる。地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、未就園家庭の集い、支援の場として母子生活支援施設内に支援センターを設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うもの。</p> <p>【事業の成果】 ○育児不安等についての相談、支援の実施 ○地域の保育資源の情報提供 ○子育て親子の交流の場の提供と保護者間等の交流の促進 ○子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ○地域の方や老人会を講師に招き、親子教室で物づくり体験を実施 こばと子育て支援センター 利用人数 24年度 4,615人、25年度 5,525人、26年度 5,979人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延べ利用保護者数			126%	138%	
	2	育児講座参加延べ保護者数			85%	1133%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもが保育園等に通っていない就学前の子どものいる家庭に対する育児支援は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域全体で子育てを支援する基盤の形成が図られ、保護者の育児不安の解消となる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	母子生活支援施設「つくし」内に「こばと子育て支援センター」を設置することにより、支援体制の充実が図られ就学前の子どものいる親子への支援に繋がっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域と連携を取りながら、就学前の子どものいる家庭に広く利用されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	000383	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て広場事業(母親クラブ)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	地域組織活動(母親クラブ)補助金交付要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しみ」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	母親クラブ助成費		予算事業コード	01-03-02-01-13-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	母親クラブ等運営団体
意図 (どのような状態にするために)	母親相互の親睦を図り、育児に対する正しい知識を付与、共有し、児童の健全育成に資する。
手段 (どうするのか)	保育園、児童館等を活動拠点とする母親クラブの運営費を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・母親クラブ運営補助 活動助成 39クラブ	平成24年度 ・母親クラブ運営補助	平成25年度 ・母親クラブ運営補助	平成26年度 ・母親クラブ運営補助	平成27年度 ・母親クラブ運営補助	
	年度別実績	・母親クラブ運営補助 活動助成 39クラブ	・母親クラブ運営補助 活動助成 39クラブ	・母親クラブ運営補助 活動助成 39クラブ	・母親クラブ運営補助 活動助成 37クラブ		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,257	6,243	5,357	4,223	0	
	直接経費 A	4,758	4,758	3,900	2,719	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,172	1,586	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,586	3,172	3,900	2,719	0	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	活動団体数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			団体	目標	0	0	39	39	39	
			実績	0	0	39	37	0		
	(指標の説明) 母親クラブの活動団体数									
	2	総会員数	人	目標	0	0	2500	2500	2500	
				実績	0	0	2605	2346	0	
(指標の説明) 母親クラブの総会員数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 育児に関する情報交換や保護者間交流を行なう母親クラブが組織され運営されている。保育園や児童館と連携して各種事業(野外研修、読書会、料理教室等)を実施しているクラブに対し補助することで事業内容の充実を図りもって児童の育成環境を向上させる。</p> <p>【事業の成果】 1クラブあたり年額75,000円の補助 24年度 39クラブ 25年度 39クラブ 26年度 37クラブ</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの育成環境を向上するものであるが、活動が盛んなクラブとそうでないクラブがあり、補助金の出し方を検討するなど見直しの必要あり。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	活動団体数			100%	95%	
	2	総会員数			104%	94%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	適切な目標が設定されていない団体が多く、補助の対象を見直すべきである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上につながっているか、クラブごとに検証が必要。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	助成により事業内容の充実を図り、もって児童の育成環境を向上させる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	活動が盛んなクラブとそうでないクラブがあり、補助金の出し方を検討する必要あり。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	補助金の出し方を検討するなど見直しを行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000438	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て広場事業(子育て広場)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱、鳥取市0・1・2・3子育てひろば事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	子育て広場事業費			予算事業コード	01-03-02-03-14-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	0～3歳の子育て最中の市民
意図 (どのような状態にするために)	保護者の子育てにおける悩み、不安やストレスの解消を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市文化センター内に0・1・2・3児子育て広場を開設。保護者が子どもを連れて気軽に立ち寄り、子育てについて親同士の交流や情報交換できる場を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・子育て広場の設置(鳥取市文化センター1階)	平成24年度 ・子育て広場の設置(鳥取市文化センター1階)	平成25年度 ・子育て広場の設置(鳥取市文化センター1階)	平成26年度 ・子育て広場の設置(鳥取市文化センター1階)	平成27年度 ・子育て広場の設置(鳥取市文化センター1階)	
	年度別実績	10,200人	11,181人	10,222人	8,962人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,675	4,760	4,631	4,662	0	
	直接経費 A	3,925	4,017	3,902	3,910	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,857	3,955	1,948	2,606	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,068	62	1,954	1,304	0	
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	延べ利用保護者数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			実績	0	0	5000	5000	5000				
	(指標の説明) 子育て広場を利用した延べ保護者数											
	2	育児講座参加延べ保護者数	単位	人	区分	目標	0	0	350	350	350	
			実績	0	0	421	260	0				
	(指標の説明) 子育て広場の育児講座に参加した保護者数											
3		単位		区分	目標	0	0	0	0	0		
		実績			0	0	0	0	0			
(指標の説明)												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 子どもが保育園等に通っていない、3歳以下の低年齢児の子どもがいる家庭に対する育児支援が求められる。 子育て中の保護者(親子)が気軽に立ち寄り、交流や情報交換、育児相談を行い、核家族化に伴う孤立感や子育ての悩み、不安やストレスの解消をはかり、安心して子育てをすることができる。</p> <p>【事業の成果】 ・子育て相談(面接・電話・FAX) ・遊びの広場 ・子育て情報の提供 ※0～3歳児の低年齢児を対象 ※鳥取市文化センター1階に設置 ※月～土曜日の開設</p> <p>利用人数 24年度11,181人、25年度 10,222人、26年度 8,962人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	延べ利用保護者数			101%	88%	
	2	育児講座参加延べ保護者数			120%	74%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもが保育園に通っていない就学前の子どもがいる家庭に対する育児支援は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	子育て中の保護者の交流や情報交換、育児相談をすることにより、子育ての悩み・不安やストレスの解消を図り、安心して子育てをすることができる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保育園に通っていない低年齢の子ども(特に第1子)を育てる保護者にとって、育児に対する不安や悩みは大きく、それらを解消するための場所の提供は重要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	低年齢の子供を抱え、同じような育児の悩み・不安を持つ保護者に多く利用されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	000442	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て広場事業(家庭支援推進保育)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	家庭支援推進保育事業費			予算事業コード	01-03-02-03-24-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	日常生活における基本的な習慣や態度のかん養等について、家庭環境に対する配慮など保育を行う上で、特に配慮が必要とされる児童
意図 (どのような状態にするために)	日常生活における基本的な習慣や態度のかん養等を身につけ、入所児童の処遇の向上を図る
手段 (どうするのか)	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施する。	
	年度別実績	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施した。	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施した。 訪問件数 270件	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施した。 訪問件数 164件	該当児童に対する指導計画を作成し、計画的に保育にあたるとともに、家庭訪問、親子体験活動、保護者への育児講座など、保護者に対する支援を実施した。 訪問件数 176件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,000	1,192	1,062	757	0	
	直接経費 A	250	449	333	5	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	125	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	125	449	333	5	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指導件数	件	目標	250	250	250	250	250
	(指標の説明) 該当児童の訪問件数		実績	286	270	164	176	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3462</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 日常生活における基本的な習慣や育児に関して、乳幼児の健全育成と保護者の教育力の向上を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①育児講座 保護者を中心とした子育てに関わるものを対象として育児講座を実施する中で、子どもの発達段階に即した大人の適切な関わり方、併せて子育てに対する意識の高揚を図る。</p> <p>②保護者に対する支援 職員の資質向上を図り保護者支援に努める。 乳幼児期の発達過程をしっかり捉え、支援の充実を図る。</p> <p>利用実績 H25年度発達支援保育巡回指導 該当37保育園 該当児童128人 H26年度発達支援保育巡回指導 該当39保育園 該当児童112人</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も支援を必要とする児童が増えることが予想され、家庭支援推進保育士を中心に各保育園職員全員で保護者支援の充実を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	指導件数	114%	108%	66%	70%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市保育基本方針のもと保育支援を必要とする児童への配慮の充実が図れる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	支援の必要な児童に対して、より手厚い保育支援や保護者支援ができてい
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指導計画を策定して計画的に保育を実施。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	支援の必要な児童、家庭に対して公平に対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も支援を必要とする児童が増えることが予想され、家庭支援推進保育士を中心に各保育園職員全員で保護者支援の充実を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000480	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	子育てサークル支援事業費		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成11年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市子育てサークル支援事業費補助金要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子育てサークル支援事業費			予算事業コード	01-04-01-03-25-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ゆうゆう子育てネットワーク 市内20子育てサークルで構成されている
意図 (どのような状態にするために)	各地域の子育てサークルの活動内容の充実を図り、活性化させる。
手段 (どうするのか)	地域にある子育てサークル間の交流や研修会を行うことで、サークルの活動を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・研修会 ・イベント ・交流会	・研修会 ・イベント ・交流会	・研修会 ・イベント ・交流会	・研修会 ・イベント ・交流会	・研修会 ・イベント ・交流会	
	年度別実績	・研修会 ・イベント ・交流会の実施	・研修会 ・イベント ・交流会の実施	・研修会 ・イベント ・交流会の実施	・研修会 ・イベント ・交流会の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,567	1,553	1,525	1,572	0	
	直接経費 A	68	68	68	68	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	68	68	68	68	0
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	子育てサークル数	団体	目標	19	20	20	20	0
				実績	20	20	20	20	0
	(指標の説明) ゆうゆう子育てネットワークに加入している活動支援サークル数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 平成11年度に「ゆうゆうとっとり子育てネットワーク」を設立し、子育てサークル間の交流会や研修会などを開催し支援している。 1 年3～4回の交流会、年1～2回のイベント「ゆうゆうまつり」の実施。 2 保健センター行事への参加協力。 3 関係機関の会議への参加等。</p> <p>【事業の成果】 地域にある子育てサークルの活動を支援し、サークル間の交流の場として広域的にネットワークを組み安心して子育てができるよう、環境づくりを図っていったことができた。</p> <p>平成24年度研修会・イベント 計11回開催 参加人数334人 決算額 68,000円 平成25年度研修会・イベント 計11回開催 参加人数336人 決算額 68,000円 平成26年度研修会・イベント 計13回開催 参加人数406人 決算額 68,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域にある子育てサークルの支援の継続と、安心して子育てができる環境づくりを図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	子育てサークル数	105%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域で活動している子育てサークルを支援するために、行政が取り組むべき事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	子育てサークルのリーダーが情報交換し研修を受ける機会を設けることでリーダーの資質向上につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市独自で結成された組織であり現状に応じた支援活動が実施できている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	子育てサークルのリーダー有志により結成された団体であり毎年広く会員を募っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域の子育てサークルの活動を支援していくために、ゆうゆう子育てネットワークを継続支援していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000399	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	母子家庭自立支援員設置事業(支援員)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	母子自立支援員設置費			予算事業コード	01-03-02-02-07-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民(母子・父子家庭)
意図 (どのような状態にするために)	離婚、或いはシングルマザーが、子どもをつれての生活に不安を感じ相談に訪れる親子が増加しており、その相談対応等により不安の解消を図る。
手段 (どうするのか)	相談を受け、就労等の支援を行うことで母子・父子家庭の自立を促進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 母子自立支援員1名配置 相談件数 600件	平成24年度 母子自立支援員1名配置	平成25年度 母子自立支援員1名配置	平成26年度 母子自立支援員1名配置	平成27年度 母子自立支援員1名配置	
	年度別実績	母子自立支援員1名配置 相談件数 670件	母子自立支援員1名配置 相談件数 631件	母子自立支援員1名配置 相談件数 618件	母子自立支援員1名配置 相談件数 588件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,703	1,870	2,581	2,623	0	
	直接経費 A	1,703	1,870	1,852	1,871	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	324	211	332	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,379	1,659	1,520	1,871	0
人件費 B	0	0	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		相談件数	件	目標	600	600	600	600	600	
			実績	670	631	618	588	0		
	(指標の説明) 活動件数を示すもの。									
	2	指標名	単位	目標	0	0	15	15	15	
		母子・寡婦福祉資金の貸付件数	件	実績	0	0	12	3	0	
(指標の説明) 母子相談の結果、修学資金、就学支度金、修業資金、就職支度資金などの貸付を行った件数										
3	指標名	単位	目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 近年の離婚或いはシングルマザーの増加や長引く不況にあいまって、子どもをつれての生活に不安を感じ相談に訪れる親子が増加している。 相談を受け、就労等の支援を行なうことで母子家庭の自立を促進するもの。</p> <p>【事業の成果】 母子自立支援員 1名の配置</p> <table border="1"> <tr> <td>相談件数</td> <td>新規</td> <td>うち貸付相談</td> <td>うち就労相談</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>347件</td> <td>197件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>457件</td> <td>221件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>529件</td> <td>185件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>588件</td> <td>68件</td> <td>11件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 不況等、今後も生活に不安を感じる家庭は増加する見込であることから継続して配置、事業実施を行なうものである。</p>	相談件数	新規	うち貸付相談	うち就労相談	23年度	347件	197件	16件	24年度	457件	221件	47件	25年度	529件	185件	40件	26年度	588件	68件	11件
	相談件数	新規	うち貸付相談	うち就労相談																	
23年度	347件	197件	16件																		
24年度	457件	221件	47件																		
25年度	529件	185件	40件																		
26年度	588件	68件	11件																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	相談件数	112%	105%	103%	98%	
	2	母子・寡婦福祉資金の貸付件数			80%	20%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	母子自立支援法により、母子自立支援員として位置づけられている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	ひとり親家庭の就労支援、母子寡婦福祉資金の貸付相談等、母子家庭の経済的問題の解決に向けた支援を行っている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	関係機関との連携を図りながら支援を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	ひとり親家庭の経済的安定を目指した就労支援、子どもの進学時等への無利子による資金貸付の相談などの支援を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	母子自立支援員の設置により、ひとり親家庭の問題解決に向けた支援を継続して実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000401	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	母子家庭自立支援員設置事業(給付金)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	安心子ども基金、高等技能訓練促進費等事業実施要綱
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費			予算事業コード	01-03-02-02-08-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ひとり親家庭の母・父
意図 (どのような状態にするために)	就職に有利な資格取得により生活の安定につなげる。
手段 (どうするのか)	就職に有利な資格取得のため、その間の生活費や受講料の一部を支給する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・自立支援教育訓練給付金 2人 ・高等職業訓練促進費 新規実施10人 継続実施12人 終了予定者5人	平成24年度 ・自立支援教育訓練給付金 ・高等職業訓練促進費	平成25年度 ・自立支援教育訓練給付金 ・高等職業訓練促進費	平成26年度 ・自立支援教育訓練給付金 ・高等職業訓練促進費	平成27年度 ・自立支援教育訓練給付金 ・高等職業訓練促進費	
	年度別実績	・自立支援教育訓練給付金 0人 ・高等職業訓練促進費 新規実施10人 継続実施12人 終了予定者7人	・自立支援教育訓練給付金 0人 ・高等職業訓練促進費 新規実施 7人 継続実施 15人 終了予定者 13人	・自立支援教育訓練給付金 0人 ・高等職業訓練促進費 新規実施 2人 継続実施 8人 終了予定者 7人	・自立支援教育訓練給付金 0人 ・高等職業訓練促進費 新規実施 5人 継続実施 3人 終了予定者 3人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	31,384	29,394	12,290	10,001	0	
	直接経費 A	29,885	27,909	10,833	8,497	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	22,413	20,931	8,124	3,813	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,472	6,978	2,709	4,684	0		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		高等職業訓練対象者数	人	目標	22	25	20	20	20	
			実績	22	22	10	8	0		
	(指標の説明) 高等職業訓練対象者数									
	2	支援終了者数	人	目標	5	13	12	12	12	
				実績	7	13	8	3	0	
(指標の説明) 入学支援終了者数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 8 5 (健 0 1 4)</p> <p>【事業の概要】 母子・父子家庭において就職に有利な資格を取得するには期間がかかりその間の生活費の不安から資格取得に向かえない現状がある。 就職に有利で、かつ生活の安定につながる看護師、介護福祉士等国家資格取得養成機関在籍中、給付金を支給することにより、経済的な負担の軽減により資格取得に打ち込めることが可能となる。</p> <p>【事業の成果】 高等職業訓練促進費：看護師、介護福祉士等の国家資格取得のために養成機関に2年以上在籍する場合に給付金を支給。 平成24年度 22名 平成25年度 10名 平成26年度 8名 (内新規入学者 5名、卒業 3名)</p> <p>【今後の課題・方向性】 就職に有利な資格を取得する期間の経済的な負担の軽減により、資格取得に打ち込めることが可能になる。職業能力開発の講座受講料の助成と併せて継続的な取り組みを行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	高等職業訓練対象者数	100%	88%	50%	40%	
	2	支援終了者数	140%	140%	67%	25%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	就職に有利な資格取得を目指すための受講料の助成、給付金の支給により生活の安定に繋げている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	助成により資格取得、就労に成果を挙げている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	給付金事業対象者の事前相談、在籍確認等により支給している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事前相談、在籍証明により対象者を決定している。給付については、明確な支給基準により支給している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	就職に有利な資格を取得する期間の経済的な負担の軽減により、資格取得に打ち込むことが可能となる。職業能力開発の口座受講料の助成と併せて、継続的な取り組みを行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000369	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	家庭・婦人相談員設置事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	児童福祉法
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	家庭・婦人相談員設置費			予算事業コード	01-03-02-01-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民(保護者)
意図 (どのような状態にするために)	家庭で抱えているストレス、育児不安の相談による軽減、DV被害の相談、子ども虐待の予防と早期発見を図る。
手段 (どうするのか)	家庭・婦人相談員を1名配置し、面接、電話、訪問等により相談等支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費	平成24年度 ・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費	平成25年度 ・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費	平成26年度 ・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費	平成27年度 ・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費	
	年度別実績	・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費 相談件数 3,328件 協議会参加 4回	・家庭・婦人相談員1名配置 ・連絡協議会旅費 相談件数 1,279件 協議会参加 4回	・家庭・婦人相談員2名配置 ・連絡協議会旅費 相談件数 1,558件 協議会参加 4回	・家庭・婦人相談員2名配置 ・連絡協議会旅費 相談件数 1,540件 協議会参加 3回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,833	1,994	2,718	4,725	0	
	直接経費 A	1,833	1,994	1,989	3,973	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	640	640	640	1,281	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,193	1,354	1,349	2,692	0	
人件費 B	0	0	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	相談件数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			件	目標	2700	2800	3000	3000	3000	
			実績	3328	1279	1558	1540	0		
	(指標の説明) 活動実績を示すもの									
	2	協議会参加	回	目標	3	3	3	3	3	
				実績	4	4	4	3	0	
(指標の説明) 婦人相談員連絡協議会への参加回数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 家庭内の問題（ドメスティックバイオレンス、子ども虐待、生活苦等）についての相談件数が増大している。 DV被害者、被虐待児童の保護、安全安心な生活の確保、児童の健全な成長を促す環境を提供するため、専任の職員を配置し、面接、電話、訪問等による各種家庭・婦人相談の実施及び問題の解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 相談件数（うちDVによる相談延べ件数） 24年度 1,279件 145件 25年度 1,558件 156件 26年度 1,540件 173件</p> <p>【今後の課題・方向性】 相談員の資質の向上を図りながら問題解決に向けて支援を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	相談件数	123%	46%	52%	51%	
	2	協議会参加	133%	133%	133%	100%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の相談窓口として位置付けられている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	面接、電話により相談員が聞き取りを行い、問題解決に向けて支援を行っている。また、相談員が協議会・研修会等に積極的に出席し資質の向上を図っている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	関係機関との連携を図りながら相談業務を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	相談者の気持ちに寄り添った聞き取り、支援を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	相談員の資質の向上を図りながら問題解決に向けて支援を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000434	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園園庭芝生化事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	保育園園庭芝生化事業費			予算事業コード	01-03-02-03-05-19

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	園児、保護者会等
意図 (どのような状態にするために)	保護者会等との協働のもと園庭の芝生化を図り、外遊びの増加による体力向上、情緒安定等を推進
手段 (どうするのか)	NPO法人グリーンスポーツ鳥取の技術協力により実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 芝生化 5園	平成24年度 芝生化 4園	平成25年度 芝生化 4園	平成26年度 芝生化 4園	平成27年度 芝生化 4園	
	年度別実績	芝生化 5園	芝生化 1園	芝生化 1園	芝生化 1園		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,145	3,693	3,414	3,832	0	
	直接経費 A	8,395	2,950	2,685	3,080	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	6,713	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,682	2,950	2,685	3,080	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		芝生化による満足度の割合	%	目標	0	0	70	70	70
	実績	0	0	76	81	0			
2	(指標の説明)	当該年度に芝生化をした園の満足度の割合							
	目標	0	0	0	0	0			
3	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 NPO法人グリーンスポーツ鳥取の協力により「鳥取方式」での園庭、公園等芝生化が進んでいる。 保護者会との協働のもと園庭の芝生化を図り、外遊びの増加による体力向上、緑による情操安定、砂埃のたたないグラウンド化を推し進めるものである。</p> <p>【事業の成果】 保護者会の協力の得られる保育園園庭の芝生化。 24年度 1園 25年度 1園 26年度 1園</p> <p>【今後の課題・方向性】 保護者の協力がなかなか得られず、計画に対して実績が上がっていない状況である。 芝生化した他園の満足度の状況や、芝生化により児童にみられる変化などをもっとPRして保護者に理解を求めながら、今後も年次的に芝生化を進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	芝生化による満足度の割合			109%	116%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもの情緒安定や体力向上に資する事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	外遊びが好きになった等、子どもに変化が見られる。実施園の保護者の81%が満足と回答。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民と協働して取り組む事業の好事例。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	保護者は水やり、草刈りなどの作業を行う。受益者も一定の負担をしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>計画目標に対して実績が上がっていない。保護者に理解を求めながら、今後も年次的に芝生化を進める。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000366	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	若者定住促進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市新たな出会い支援事業補助金、鳥取市若者定住促進事業補助金、「すごい！鳥取市」婚活サポートセンター
施策	1101	子育て応援の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市内全保育園(若草学園含む)の芝生化実施率		57%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	若者定住促進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-09

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	①県内外の若者 ②若者団体
意図 (どのような状態にするために)	①若者を対象とした「婚活」事業の実施を支援することで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図る。 ②若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図る。
手段 (どうするのか)	①出会いの場の設置開催や、話し方やマナーの向上、結婚に関する一般的な知識習得のための研修など、結婚を希望する者への支援を行う。 ②若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 該当事業への補助金の交付	平成24年度 該当事業への補助金の交付	平成25年度 該当事業への補助金の交付	平成26年度 該当事業への補助金の交付	平成27年度 該当事業への補助金の交付	
	年度別実績	新たな出会い支援事業 7件 若者定住促進事業 6件	新たな出会い支援事業 9件 若者定住促進事業 6件	新たな出会い支援事業 5件 若者定住促進事業 7件	新たな出会い支援事業 4件 若者定住促進事業 2件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,820	11,318	9,970	13,832	0	
	直接経費 A	3,820	3,892	2,685	6,310	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	1,202	847	419	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,820	2,690	1,838	5,891	0	
人件費 B	0	7,426	7,285	7,522	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	新たな出会い支援事業	人	目標	300	300	300	300	300
		(指標の説明) 参加者数	実績	302	197	141	199	0	
	2	若者定住促進事業	人	目標	2000	2000	2000	2000	2000
		(指標の説明) 参加者数	実績	2337	4342	6384	5272	0	
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】1101、4204</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P31(企001)、9月補正予算・P03(企001)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①出会いの場の設置開催や、話し方やマナーの向上、結婚に関する一般的な知識習得のための研修など、結婚を希望する者への支援事業</p> <p>②若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援事業</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①若者を対象とした「婚活」事業の実施及び婚活サポートセンターの運営をを支援することで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図った。</p> <p>平成24年度 892千円(9事業者)※上限20万円 平成25年度 559千円(5事業者)※上限20万円 平成26年度 669千円(4事業者)※上限20万円</p> <p>4,950千円(婚活サポートセンターへの補助)</p> <p>②若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図った。</p> <p>平成24年度 3,000千円(6事業者)※上限100万円 平成25年度 2,096千円(7事業者)※上限100万円 平成26年度 600千円(2事業者)※上限100万円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>人口減少が始まり、高齢化が進展している中、鳥取市が将来にわたってにぎわいのある都市として発展・継続していくためには、若者が活力を持って活躍するための条件整備が必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	新たな出会い支援事業	101%	66%	47%	66%	
	2	若者定住促進事業	117%	117%	319%	264%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	「婚活」事業実施の支援により、広く若者の婚活参加の意識浸透が図れ、結婚への後押しにつながる。また、若者が主体の地域力向上の取組を支援することで、地域の魅力アップ及び地域愛の醸成につながる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新たな出会い支援事業においては、カップル成立はもとより事業実施者からも補助事業活用により新たな切り口で思い切った取組ができるという声もあった。若者定住促進事業においては、事業実施により多くの集客による鳥取らしい街の賑わいを実現できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	新たな出会い支援事業においては、ノウハウやアイデアを有した事業実施者に支援することでカップル成立率向上に寄与し、若者定住促進事業においては、元気のある若者が核となり多くの集客による鳥取らしい街の賑わいを実現できている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特定非営利活動法人・団体・個人等が主催して実施する取組に対し広く対象としており、公平性を保っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	人口減少対策の一環である若者定住を促進する上で重要な取組である。継続的な事業実施により、若者参加者の増加ひいては若者の定住につなげていく。	